

履修のてびき

東京農業大学

2025

世田谷 1～2年次生用

応用生物科学部

生命科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

目 次

⇒大学において学修するための基礎知識Ⅰ～Ⅳ	1
2025 年度 年間授業計画	4
1 学生ポータルとは	5
2 履修登録	9
3 特別プログラム「グローバル教育科目」の履修登録	17
4 2025 年度特別講義について	19
5 教職課程の履修登録について	21
6 学術情報課程の履修登録について	22
7 特別プログラム「日本語教育科目」の履修登録	22
8 東京情報大学との協定に基づく科目履修登録	22
9 履修登録の方法	23
10 履修確認について	28
11 WebClass の利用について	29
12 遠隔授業の受講方法	35
13 教材フォルダの使い方	36
14 Forms の使い方	37
15 科目ナンバリングについて	38
16 履修モデル	39
17 世田谷キャンパス 1 号館 教室配置図	54
18 世田谷キャンパスサイエンスポート教室配置図	55
19 キャンパスマップ（世田谷）	57
20 実験・実習・演習室短縮名称	59

⇒ 大学において学修するための基礎知識Ⅰ～Ⅶ

Ⅰ. 「履修する」ということ ―所属する学科の課程を学習し修めること―

各学科の課程には、「必修科目（所属する学科で必ず履修しなければならない科目）」とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学習目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学習するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学習に主体的に取り組んでください。

Ⅱ. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間を前学期（15回）と後学期（15回）の2学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します（一部科目を除く）。

卒業までには、2学期×4年＝8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学習していくことが大事です。

Ⅲ. 大学の授業科目は単位制 ―学習時間と単位の関係―

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学習時間数と教室以外（授業以外）での学習時間数（予習・復習の時間）の合計で決まります。

2単位を修得するためには、

授業科目 1コマ＝2時間／週（本学では90分）×15回

修得のための予習復習時間＝4時間／週 × 15回

の時間数が必要とされます。

例えば、前学期で22単位（11科目）履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11＝44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています。

※詳細は11ページ「2 履修登録（3）履修登録単位数」を参照してください。

Ⅳ. カリキュラム（学修体系）の特長 ―いろいろあるのが本学の特長―

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び、入学してきました。本学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして自信を持って皆さんを社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛り込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

1. 科目の区分

【必修科目】

各学科に配当された授業科目のうち、必ず修得しなければならない科目です。

必修科目は、必ず履修して合格の成績評価を受けないと卒業できません。

1つでも不合格だと卒業できません。

【選択必修科目】

各学科に配当された授業科目のうち、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

【選択科目】

各学科に配当された授業科目のうち、皆さんの意思により選択し、卒業要件単位数以上を修得しなければならない科目です。

より高い専門性を修得するための科目で、自由に選択できます。

2. 学修体系の特長

【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目・特別プログラム】

本学のカリキュラムは、総合教育科目と外国語科目と専門教育科目と特別プログラムの4つに大別されます。

※詳細は、「学生生活ハンドブック」の「履修編」の「授業科目の概要」を参照してください。

【グローバル教育科目】

特別プログラムの1つです。

グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施する専門的な教育科目で、日本および世界の食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、開講している科目です。

【教職課程・学術情報課程】

教員免許状取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。

これらの資格を取得したい学生は、所定の手続きを自分でを行い、履修登録しなければなりません。

※詳細は 21、22 ページを参照してください。

V. 履修登録する ―選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっている―

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

1. 自分の学修体系を決める

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた計画を立ててください。

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基礎・教養 専門基礎	知識・技術の習得 応用、専門基礎	研究テーマ設定 専門分野の研究	卒業論文作成 就職・進学に向けた活動
3 年次からの研究に向けて基礎を身につけ、 自分の興味・関心を絞り込む		研究室に所属し、 研究スタート	卒業論文の作成 就職活動、進学準備

2. 科目名をチェック ⇒ 科目名で大体の内容をイメージ

◇ 自分の学科配当の選択科目：例)「農学概論」=農学について全体の概要を学べる科目であろうことがイメージできる。

◇ 自分の学部配当の共通科目：例)「起業論」=起業の考え方や基本的な内容を学ぶ講義であろうことがイメージできる。

◇ 他の学部、学科の科目：例)「造園計画学」=庭などを造る際の計画のプロセスが学べる科目であろうことがイメージできる。

3. シラバス（講義要項）をチェック ⇒ 科目の講義内容を確認

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が記載されていますので、活用してください。

4. 履修登録 ⇒ 履修登録期間を確認

前学期の履修登録・履修修正期間に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。

後学期の履修登録期間・履修修正期間では、後学期科目のみ追加・削除・変更が可能です。

履修登録するための諸注意を、9 ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

【重要】履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。

忘れず、また間違いのないよう慎重に登録してください。

VI. 学生の皆さんへの注意事項 ―自分のことは自分で、責任を持って―

1. 配付した書類は熟読してください。

2. 学生ポータルをこまめに確認する習慣をつけてください。

※学生ポータルについては 5 ～ 8 ページを参照してください。

3. 期限は厳守してください。(期限後は受け付けません)

4. 教務課窓口の業務時間【平日（授業期間）】8:30 ～ 19:30 (～ 17:00) (時間外は受け付けません)

※ () の時間は授業日及び追試験以外の業務時間です。

VII. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では、学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示などの順番も原則として次のように行います。

学 部 名 等	短縮表示
応用生物科学部	応生学部
農芸化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
生命科学部	生命学部
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物
地域環境科学部	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
国際食料情報学部	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
アグリビジネス学科	ビジネス
国際食農科学科	食農
グローバル教育科目	グローバル
教職課程	教職
学術情報課程	学情

2025年度 年間授業計画

(応用生物科学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部)

月	日(曜日)	行事予定
2025	2日(水) 3日(木)～11日(金) 14日(月) 30日(水)	入学式 新入生ガイダンス・健康診断 在学生ガイダンス・健康診断 新入生オリエンテーション 等 前学期授業開始(7/18まで) 【休講日】
4	1日(木)～2日(金) 6日(火) 18日(日)	【休講日】 【授業日】みどりの日振替休日 大学の記念日
5		
6		
7	18日(金) 21日(月)～25日(金) 28日(月)	前学期授業終了 前学期定期試験(7/21海の日は定期試験を実施)
8	4日(月)～8日(金)	追試験 夏季休業 夏季集中授業、各種教育プログラム
9	上旬 24日(水) 25日(木)	前学期科目の評価開示 後学期授業開始(1/15まで)
10	13日(月) 30日(木)	【授業日】スポーツの日 収穫祭に伴う休講期間
11	4日(火) 24日(月)	準備・前夜祭10/30、収穫祭10/31～11/2、体育祭11/3、後片付け11/4 【授業日】勤労感謝の日振替休日
12	23日(火)	冬季休業
2026	2日(金) 5日(月) 14日(水)・15日(木) 15日(木) 19日(月)～23日(金) 30日(金)	後学期授業再開 【補講日】 後学期授業終了 卒業論文題目届の提出期限(3年次生) 後学期定期試験 卒業論文の提出期限(卒業年次生)
1	6日(金)～12日(木) 下旬	追試験(2/11建国記念日は追試験を実施) 後学期科目の評価開示
2	5日(木) 6日(金) 20日(金・祝)	卒業確定者及び進級確定者の発表 【休業日】学校法人の創立記念日 学位記授与式
3		

注：上記スケジュールは予定であり、変更することがあります。変更が生じた場合は、随時、学生ポータルにて周知します。

1 学生ポータルとは

学生ポータルとは、学生生活を送る上で必要な情報を Web 上で確認できるシステムです。個人の呼び出しや授業の情報等がインターネットに接続しているパソコン・スマートフォン等から確認できます。また、履修登録や成績の確認、オフィスアワー、シラバスの検索など授業の受講に必要な手続きにも利用します。

※このたびきではパソコン用画面に沿った説明を記載しています

(1) ログインの方法



東京農業大学ホームページ

<https://www.nodai.ac.jp/>

①[在学の方]を選択

②[学生ポータル]を選択

使用するデバイスを選んでアクセスしてください。

…「学生ポータルパソコン用」

…「学生ポータルスマートフォン用」

③「利用者 ID」に学籍番号を入力し、「パスワード」を入力し、「ログイン」を押します。



(2) 各メニューの使い方



A 上部メニューバー

◆ MY 時間割

各自の授業時間割を確認できます。

教室変更や休講情報、課題の連絡等の重要な情報を確認できます。

◆ 教務掲示

授業に関する情報の確認や履修登録、成績の確認ができます。

・ 時間割表

クリックするとキャビネットに自動遷移します。キャビネット一覧から時間割表を選択すると各キャンパスごとのフォルダに分かれており、各時間割表 (PDF) を掲載しています。なお、集中開講科目日程表もここに掲載しているため、履修登録の前に確認してください。

・ 教務掲示一覧

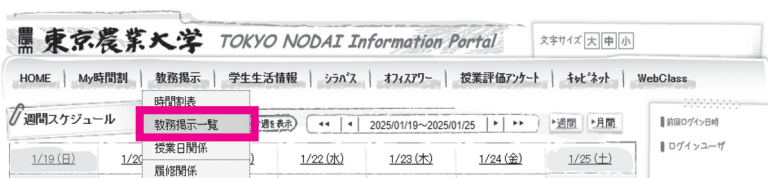
教員および教務課等から、授業に関するお知らせを掲示しています。

講義の受講方法、レポート課題についての連絡など、授業を受ける上で必要な情報を確認できます。

【教務掲示の検索方法】

ページ下部の検索条件から必要な情報を検索できます。

詳細検索条件の「▼検索条件を開く」をクリックすると、過去の掲示内容や教員名・開講番号で検索できます。



①教務掲示から
[教務掲示一覧]を選択



②履修している科目に関するお知らせが表示されます。

～メッセージ種別～

休講情報

休講する科目と日程について

補講情報

休講した科目の補講日等について

時間割変更情報

教室・時限・曜日変更等（一時的な変更）について

講義連絡(7 ページ)

授業に関するお知らせや課題・試験等について

レポート課題(7 ページ)

レポート課題の詳細と提出について

授業日程変更

授業の時限・教室変更（学期末または授業終了期間までの変更）について

講義連絡

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィス | 授業評価アンケート | ネット | WebClass

教務情報(講義連絡情報)

一覧画面へ戻る

講義連絡対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
木2限 (10:40-12:10)		若松 伸彦	343教室	後学期

講義連絡の詳細

メッセージ種別: 講義連絡

送信者: 若松 伸彦

タイトル: 今週と来週の講義プリント

詳細: 今週と来週使用するプリントをアップします。今週は以前のプリントの続きからになります。

URL:

URL 2:

添付ファイル

ファイル名	ファイル内容
ファイル1	斜面での地形と植生(図表).pdf
ファイル2	斜面での地形と植生.docx
ファイル3	斜面での地形と植生.pdf

備考:

一覧画面へ戻る

シラバス情報を確認する

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2024

「開講科目名」を選択すると授業についてのお知らせを確認できます。

重要なお知らせもありますので必ず確認してください。

レポート課題

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィス | 授業評価アンケート | ネット | WebClass

教務情報(レポート課題情報)

一覧画面へ戻る

レポート課題対象の時間割

曜日時間	開講科目	教員	教室	学期
火1限 (9:00-10:30)		吉野 聡	439教室	後学期

レポート課題情報の詳細

メッセージ種別: レポート課題

送信者: 吉野 聡

タイトル: 2024年度森林情報学レポート

詳細: 森林情報学のレポートの提出場所です。詳細は添付ファイルをご確認ください。

提出期限: 1/14 (火) 0:00 期限後の提出を許可しない

添付ファイル: レポート告知用.pdf

備考:

一覧画面へ戻る

レポートを提出する

シラバス情報を確認する

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2024

「開講科目名」を選択すると、レポート課題についてのお知らせを確認できます。

作成したレポートは、以下の手順で提出してください。

「レポートを提出する」を押すと詳細と下記の画面が確認できます。

(履修中の科目のみレポート課題を提出できます。)

提出状況

提出状況	未提出
提出ファイル *	ファイルを選択 選択されていません
提出コメント	(1000文字以内で入力してください。)
教員コメント	
提出日時	-

前の画面へ戻る

レポートを提出する

「ファイルを選択」から作成したファイルを選択してください。必要があれば提出コメントを入力し、「レポートを提出する」を押してください。
(提出した後に提出状況の表示「提出済み」「受理」「再提出」等を必ず確認してください。)

・ **あなたの履修**

当該年度の履修登録期間に登録した科目の確認ができます。履修確認の時期にはここから確認してください。

・ **あなたの成績台帳**

確認する時点までに確定している成績、単位修得状況、GPA 等を確認することができます。

◆ **シラバス**

授業の内容を確認することができます。成績評価の基準等、履修登録する前に必ず確認してください。

◆ **オフィスアワー**

授業担当者の連絡先や質問方法、対応時間が掲載されています。授業時間外で質問する場合に利用してください。

◆ **キャビネット**

ガイダンス資料や時間割表、年間授業計画、各種申請書類などをアップロードしています。

B **週間スケジュール**

授業の予定や大学の予定を確認できます。

なお、隔週で開講している科目は毎週表示され、集中科目は表示されない場合があります。

C **お知らせ**

◆ **全学共通のお知らせ**

全学生に関わる大切なお知らせです。

◆ **各キャンパスからのお知らせ**

所属キャンパスごとの大切なお知らせです。履修、試験、成績などに関する全体的なお知らせはここに掲出します。

◆ **あなた宛のお知らせ**

個人宛に送っている大切なお知らせです。

教員や事務からの呼び出しに関するお知らせが届く場合があります。

2 履修登録

(1) 履修登録の流れ

- ◇ 履修登録にあたり予め「履修のてびき」「学生生活ハンドブック」「シラバス」で修得すべき単位数、各授業科目の履修方法、履修条件を理解しておくことが大切です。
 - ◇ 履修登録は学生ポータルを用いて Web 上で行います。履修登録の方法（23 ページ）を熟読し、手続きしてください。
- ※履修登録前に「住所等の登録」、「住所等の変更 / 確認」が必要です（28 ページ参照）。

履修登録の流れ	前学期	後学期	詳細・備考
ガイダンス 履修計画を立てる	4 月上旬		履修のてびき（当データ）、各学科の「授業科目配当表」（学生生活ハンドブック）、「シラバス（講義要項）」・「時間割表」（学生ポータル）を参照し、履修計画を立ててください。
授業開始	4 月 14 日	9 月 25 日	各自の履修計画に沿って授業に出席してください。 ★履修確定前の授業も出席してください。
履修登録期間	4 月 11 日 ～ 4 月 16 日	9 月中旬	学生ポータルの「教務掲示」の「履修登録（修正）」から必要な科目を登録してください。（23 ページ 9 履修登録の方法） ★登録が完了した後、最終確認のため必ずページ全体の印刷または画面のデータを保管してください。 期間中は終夜利用可能 ただし、8:30 ～ 10:30 はメンテナンスのため停止 最終日は 17:00 で終了
履修確認	4 月 22 日	9 月下旬	学生ポータル「あなたの履修」にて正しく登録されているか必ず確認してください。
履修修正期間	4 月 23 日 ～ 4 月 25 日	10 月上旬	履修登録の方法に従い学生ポータル「履修登録（修正）」から履修修正してください。 期間中は終夜利用可能 ただし、8:30 ～ 10:30 はメンテナンスのため停止 最終日は 17:00 で終了
履修確認	5 月 8 日	10 月中旬	学生ポータル「あなたの履修」にて履修修正が反映されているか必ず確認してください。

※後学期日程は 7 月下旬に学生ポータルにてお知らせします。

※教職・学術情報課程の履修については 21・22 ページを参照してください。

★アカデミックサポーターによる履修相談会について

履修登録期間・履修修正期間で、アカデミックサポーターによる履修相談会を開催しています。2 年生以上のアカデミックサポーターの先輩方が、履修に関する質問に答えてくれる機会ですので、ぜひ活用してください。

日時、場用等の詳細については、学生ポータルで別途お知らせします。

アカデミックサポーターとは

学生同士が助け合いと学び合いにより、学生支援の充実を図るインターンシップ制度で、新入生履修サポート、授業支援・環境整備、障がい学生支援、イベント企画・開催など、さまざまな活動を行っています。

活動内容については右記 QR コードから確認してください。



全学生が必ず各自で履修登録し、登録内容を確認してください。

次の 10 ページ以降に登録にあたっての重要な詳細を掲載していますのでよく確認して、23 ページ [9 履修登録の方法] からの手順に従って登録してください。

(2) 履修登録の基礎知識

①履修計画

次の3つの情報を組み合わせて、自身の1年間の履修計画を立てます。

◇ 学科のカリキュラム・科目を知る ⇒ 「授業科目配当表」

各自の入学年度の「学生生活ハンドブック」の「授業科目配当表」で該当学科のページを参照してください。学科ごとに定められたカリキュラムに沿って4年間に開講される科目と卒業要件単位数を表で示しています。なお2025年度時点では2024年度以降の入学生に適用される新カリキュラムと2023年度以前の入学生に適用される旧カリキュラムの両方が運用されており、履修できる科目や内容も異なるため注意が必要です。

◇ 時間割を知る ⇒ 「時間割表」

時間割は各科目の授業を実施する学期、曜日、時限、教室、担当者名などの情報を一覧にした表です。学生ポータルサイトのメインメニュー「教務掲示」から「時間割表」を開くと学部・学科、全学科目、教職課程科目、学術情報課程科目の時間割をPDFで閲覧することができます。なお、集中科目については「集中開講科目日程表」として実施する日程、時間、場所などの情報を一覧表にし、PDFを同じ場所に掲載しています。

◇ 科目の内容を知る ⇒ 「シラバス」(講義要項)

学生ポータルサイトのメインメニュー「シラバス」のプルダウンメニューから検索方法を選んで開きます。履修したい科目を検索して、授業の概要、到達目標、各回の進行、評価の方法などの詳細を閲覧することができます。

②履修のための基本知識

履修登録のために必要な以下の主なキーワードを理解しておきましょう。

キーワード (例)	説明
開講番号・履修番号 (S0000)	アルファベット+数字4ケタ 科目ごとに設定された管理番号です。同じ科目名でも他学科の科目などを見分けるためにも用います。 アルファベットのS=世田谷キャンパスの開講科目、A=厚木キャンパスの開講科目です。K=クラス分けが決定していない必修科目を自動登録している仮履修番号です。クラスが決まり次第、正規履修番号と入れ替えます。
科目名 (一)・(二)	科目名+(漢数字)[例「生化学(一)」]などの漢数字はその科目が別内容の科目であることを表しています。科目によっては数が大きいほどレベルが高いことを示している場合もあります。
科目名 (応生)・(生化)	科目名+(学部・学科短縮表示)[例「生物学(栄養)」]は学部・学科を指定している科目です。()内の学部・学科の所属学生以外は履修できません。 ※学部・学科短縮表示一覧:3ページ参照
科目名 Aクラス・Bクラス	科目名+アルファベットクラス[例「数学演習 Aクラス」]はクラス分けをしている科目で、各自の時間割に合わせてクラスを選択できます。ただしクラスを指定する科目が一部あります。
科目名【旧カリ補講】	科目名+【旧カリ補講】[例「経済入門【旧カリ補講】」]は2023年度以前の入学生に適用される旧カリキュラムの科目であることを示しています。よって2023年度以前の入学生のみが履修でき、2024年度以降の入学生は履修できません。なお、一部の科目は2024年度以降の入学生に適用される新カリキュラムと同時限に開講されます。その場合はそれぞれの入学年度のカリキュラムで履修登録してください。
集中科目	曜日・時限を固定した科目とは異なるスケジュールで実施する科目を指しています。前学期集中、後学期集中、通年集中の3種類あります。詳細は集中開講科目日程表に掲載していますが、学期開始時に日程や詳細が決まっていない科目もあるので履修登録には注意が必要です。

(3) 履修登録単位数

①履修登録単位数の制限（キャップ制）

学期ごと及び1年間に履修できる単位数は制限されています。これをキャップ制といいます。
上限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除してください。

履修上限は、学期ごとに22単位まで・年間44単位までです。

ただし、栄養科学科の学生は学期ごとに25単位まで・年間49単位まで

※ リメディアル科目、専門実用科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とします。

②履修登録単位数カウント方法

以下のようにカウントします。

- ◇ 前学期科目…前学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 後学期科目…後学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 通年科目…単位数の1/2を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 集中科目…前学期、後学期、通年問わず、年間の単位数としてカウントします。また、通年科目のうち半期が集中の場合は集中科目の単位数としてカウントします。

例) 右の単位数を登録した場合…前学期科目:20単位、後学期科目:18単位、通年科目:2単位、集中科目:4単位

前学期		後学期		年間	
対象科目	単位数	対象科目	単位数	対象科目	単位数
前学期科目	20			前学期科目	20
		後学期科目	18	後学期科目	18
通年科目 1/2	1	通年科目 1/2	1	通年科目	2
				集中科目	4
前学期計	21	後学期計	19	年間計	44

(4) 履修登録上の注意事項

- ◇ 在籍学年の必修科目は自動登録されているので、登録する必要はありません。
万が一、自動登録された科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目の履修番号をその時間帯に登録してください。
※原級・留年・再入学・転学部・転学科・転入学及び編入学した者は、卒業まで自動登録されません。各自で履修登録してください。
※必修科目を再履修する場合も自動登録されません。各自で履修登録してください。
- ◇ 隔週で開講する科目は、同一時限に登録してください。
- ◇ 集中科目は、開講学期にあわせて集中講義選択画面から登録してください。
- ◇ 上級学年の配当科目は履修できません。自分の学年または下級学年の科目のみ履修できます。(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ◇ 後学期の履修登録期間には前学期科目(通年・前学期集中科目を含む)の登録・削除はできません。
- ◇ 学生生活ハンドブックの「授業科目配当表」と開講学期が異なることがあるので注意してください。
時間割表に沿って登録してください。

(5) 科目ごとの制限、条件等の注意事項

①英語科目

所属学部によってクラス分けの方法が異なります。決定したクラスは変更できません。履修については学科ガイダンス等で説明があるので確認してください。地域環境科学部に在籍していて再履修する学生は、再履修クラス(Sクラス)を履修してください。

※ 外国語科目の基礎英語科目・実用英語科目については、他学部・他学科聴講は認めません。

※ 生命科学部1年次開講「実用英語(一)」は、入学式後に実施する英語クラス分けテストの結果に基づき、履修が必要な該当者を決定する。該当者は必ず履修してください。

②スポーツ・レクリエーション（一）・（二）

シラバス（授業実施方法、実施種目など）を確認の上、自分の学科の前学期の第 1 回目の授業を受講してください。（二）のみ登録する場合も原則同様です。

履修人数に定員を定めており、**次の授業で履修者の決定とクラス分けを行いますので、履修希望者は必ず出席してください。**

履修者の定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行います。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できます。そのため履修登録は履修修正期間に行いますので、**履修登録の申請漏れにはご注意ください。**教科書は、履修できることが決定した後に購入してください。

第 1 回目の授業（桜丘アリーナ 2F フロアに集合、体育館用シューズ着用）では運動は行わないので私服のままで出席してください。

※月曜 4 限「共通クラス」は、すべての学科・学年の学生が履修できます。ただし 1 年生は、まずは自分の学科に割り当てられた時限に出席してください。2 年生以上の学生は他学科のクラスでも履修可能ですが、必ず希望するクラスの第 1 回目の授業に出席してください。

③ステップ制のある授業科目

◇「国際食料情報学部 外国語科目の初修外国語科目」

（中国語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、韓国朝鮮語）

科目の（一）⇒（二）順序に従い単位修得する科目です。

例えば（一）の単位を修得しなければ、（二）を履修することはできません。

◇「データサイエンス基礎」（一）または（二）

履修には情報基礎（一）、情報基礎（二）の単位修得が必要です。

④クラス分けのある授業科目

クラス分けは自分の時間割に合わせて自由に選択できる科目と、予め指定している科目があります。

◇ 学部・学科指定クラス「科目名（学部・学科名）」：自分の所属学科のクラスを履修登録してください。

◇ 学籍番号順クラス「科目名＋アルファベットクラス」：学生ポータルに掲出する「クラス分け表」から自分の所属するクラスを確認してください。

◇ 事前決定クラス「科目名＋アルファベットクラス」：クラス分けテスト等によって決定したクラスを履修登録してください。

◇ 教職・学術情報課程科目のクラス：「教職・学術情報課程科目名＋学部・学科指定のないアルファベットクラス」：自分の時間割に合わせて自由に選択できます。学部・学科指定がある科目は自分の所属するクラスを履修登録してください。

※クラスは科目名と分けて表記している場合があります

⑤リメディアル科目

リメディアル科目は、1 年次に開講します。年度当初に受講対象者を決定し、指定科目を自動登録しますので履修登録は不要です。対象学生は指定の科目を必ず受講しなければなりません。他学部・他学科の科目は履修できません。**また、卒業要件単位には含まれません。**

⑥他学部・他学科科目

◇ 他学部・他学科科目は、上級学年の配当科目は履修できません。

◇ 他学部・他学科科目の履修登録単位の上限は、在学中合計 16 単位です。

※合否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされます。

◇ 次の科目については他学部・他学科聴講の対象外です。

- ・ 実験・実習・演習（研修を含む）科目（開発「海外農業実習（一）（二）（三）」を除く）
- ・ 各学部の総合教育科目（スポーツ関係科目を除く）、外国語科目（初修外国語科目を除く）
- ・ 一部の学部または学科開講科目（時間割表に★または☆マークの入っているもの）

※★：他学部・他学科履修不可 ☆：他学部または他学科履修不可

⑦初修外国語科目

学部	詳細
応用生物科学部	初修外国語は開講なし。 また、他学部の科目も履修できません。
生命科学部	
地域環境科学部	複数の語学 選択×
国際食料情報学部	複数の語学 選択○

⑧「データサイエンス基礎（一）・（二）」

【「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を構成する科目と修了要件単位数】

分野			授業科目		単位数	修了必要 単位数
科目 総合教育	科目 全学共通	導入科目	コア科目	情報基礎（一）	2 単位	2 単位
				情報基礎（二）	2 単位	2 単位
				データサイエンス基礎（一）	1 単位	1 単位
				データサイエンス基礎（二）	1 単位	1 単位
科目 専門教育	科目 学科専門	下の関連科目一覧を参照				2 単位以上
					合 計	8 単位以上

「データサイエンス基礎（一）・（二）」の履修登録

「データサイエンス基礎（一）・（二）」は全学部生を対象に開講します。

「情報基礎（一）」と「情報基礎（二）」の単位を修得していれば学年を問わず履修できます。

※オンライン（ライブ）の授業では Web カメラ、イヤホン（ヘッドホン）、マイクが必要です。

「データサイエンス基礎（一）・（二）」の特徴

- ◇ 授業内容は可能な限り農業に関する親しみやすい事例を取り入れることにより、解りやすい実習、ワークショップを通じて、AI 時代における実学主義を涵養します。
- ◇ 富士通株式会社との包括連携協定に基づく人材交流によって、実践的かつ本学の専門性に沿った講義を複数回設定し、データサイエンスの活用イメージが湧く授業内容を取り入れます。
- ◇ より多くの学生が受講できるよう、遠隔授業（オンデマンド、ライブ）で行います。

「データサイエンス基礎（一）・（二）」の 2025 年度授業（概要）は <https://www.nodai.ac.jp/datascience/> の「7. 特別講義 データサイエンス基礎の授業内容」を参照してください。

授業詳細は https://nodaiweb.university.jp/datascience/setagaya_atsugi/ を参照してください。

関連科目一覧

学科	区分	開講学年	科目名	学科	区分	開講学年	科目名
農学	選択	3	実験計画法	森林	選択	2	統計学
動物	必修	2	生物統計学	工学	必修	2	統計学
資源	必修	2	生物統計学	工学	必修	2	統計学演習
デザイン	必修	2	実験計画法	造園	選択	2	統計学
化学	選必	3	統計学	創成	選択	2	統計学
醸造	選必	1	統計学	開発	選択	2	統計基礎
健康	選択	1	統計学	経済	選択	2	統計基礎
健康	必修	3	生物統計学	ビジネス	選択	2	統計学（一）
栄養	選必	1	統計学	ビジネス	選択	2	統計基礎
バイオ	必修	1	生物統計学	ビジネス	選必	2	統計学演習
生化	選択	1	生物統計学	食農	選択	2	統計基礎
微生物	必修	3	生物統計学				

※自学科で開講していない科目は他学部・他学科聴講で履修してください。

(6) 同名科目

次の表は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧です。以下の点に注意してください。

◇ **所属学科（配当学年を問わず）にある科目と同名の科目は、他学部・他学科聴講できません。**

【例】 バイオの学生は微生物の「応用微生物学」を履修できません。

→ バイオ3年次に「応用微生物学」の開講があるため。

◇ 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修はできません。

科目名	学部	学科	学年	科目名	学部	学科	学年
生物学	農学部	全学科	1年	科学と哲学	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	1年		応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年		生命学部	全学科	1年
	地域学部	全学科	1年	環境科学	農学部	全学科	3年
	国際学部	全学科	1年	環境倫理	国際学部	全学科	1年
地学	農学部	全学科	2年	機器分析学	農学部	資源	3年
	応生学部	全学科	1年		生命学部	全学科	3年
	生命学部	全学科	1年	機器分析学概論	応生学部	全学科	3年
	地域学部	全学科	1年	起業論	応生学部	全学科	3年
	国際学部	全学科	1年	危険物取扱法	生命学部	全学科	3年
日本国憲法	農学部	全学科	2年	技術者倫理	地域学部	全学科	4年
	応生学部	全学科	2年	基礎有機化学	応生学部	化学	1年
	生命学部	全学科	2年		生命学部	生化	1年
	地域学部	全学科	2年	きのこ学	地域学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年	グローバル化時代の地誌	国際学部	全学科	3年
化学	農学部	全学科	1年	群集生態学	地域学部	全学科	3年
	応生学部	全学科	1年	経営情報論	国際学部	全学科	3年
	生命学部	全学科	1年	景観論	地域学部	全学科	1年
	地域学部	全学科	1年	経済学	地域学部	全学科	3年
	国際学部	全学科	1年	経済入門	農学部	全学科	2年
物理学	農学部	全学科	1年		応生学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	1年	芸術	農学部	全学科	2年
	生命学部	全学科	1年	ゲノム生物学	生命学部	全学科	3年
	地域学部	全学科	1年	現代社会の諸問題	農学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年	現代の環境問題	応生学部	全学科	2年
中国語（一）	農学部	全学科	2年	源流文化学	地域学部	全学科	2年
	地域学部	全学科	1年	公衆衛生学	応生学部	健康	3年
	国際学部	全学科	1年		応生学部	栄養	3年
中国語（二）	農学部	全学科	2年	国際関係と社会問題	生命学部	全学科	2年
	地域学部	全学科	1年	国際関係を考える	農学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年	国際比較農業論	国際学部	全学科	3年
スペイン語（一）	農学部	全学科	2年	昆虫学	農学部	農学	2年
	国際学部	全学科	1年		農学部	資源	2年
スペイン語（二）	農学部	全学科	2年	サイエンスコミュニケーション	生命学部	全学科	3年
	国際学部	全学科	1年	細胞機能学	応生学部	全学科	3年
アイソトープ利用論	生命学部	全学科	3年	細胞生物学	応生学部	化学	2年
AI とスマート農業	国際学部	全学科	3年		応生学部	健康	2年
応用微生物学	生命学部	バイオ	3年		生命学部	バイオ	1年
	生命学部	微生物	3年	自然再生技術論	農学部	全学科	3年
海外農業農村開発学	地域学部	全学科	4年	持続可能社会論	国際学部	全学科	3年
外国史	国際学部	全学科	2年	実験計画法	農学部	農学	3年
解剖生理学	応生学部	健康	1年		農学部	デザイン	2年
	応生学部	栄養	2年		応生学部	化学	4年
科学英語	農学部	全学科	4年	実験データ解析概論	応生学部	全学科	3年

科目名	学部	学科	学年
実験動物学	農学部	動物	2年
	生命学部	バイオ	3年
芝生論	地域学部	全学科	3年
社会学	地域学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	2年
食農とメディア	国際学部	全学科	3年
食品衛生学	農学部	動物	4年
	応生学部	化学	3年
	応生学部	健康	2年
	応生学部	栄養	2年
	生命学部	バイオ	3年
	生命学部	微生物	3年
	国際学部	食農	2年
食品化学	応生学部	醸造	3年
	応生学部	健康	1年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	2年
食品加工学	応生学部	醸造	1年
	応生学部	栄養	2年
	国際学部	食農	2年
食品機能学	農学部	デザイン	3年
	応生学部	醸造	3年
	応生学部	健康	3年
	応生学部	栄養	3年
	国際学部	食農	3年
食品工学	生命学部	微生物	3年
	地域学部	工学	3年
食品工学概論	応生学部	全学科	3年
食品製造学	農学部	デザイン	2年
	応生学部	化学	2年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	3年
食品微生物学	農学部	デザイン	2年
	応生学部	醸造	1年
食品学	国際学部	全学科	3年
植物栄養学	農学部	全学科	2年
植物生長調節論	農学部	全学科	3年
植物生理学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	3年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	2年
植物生理生態学	農学部	全学科	2年
植物病理学	農学部	農学	1年
	農学部	資源	1年
	応生学部	化学	3年
	生命学部	全学科	2年
植物分子育種学	生命学部	全学科	3年
植物分子遺伝学	生命学部	全学科	2年
植物防疫論	農学部	農学	3年
	農学部	資源	3年
	農学部	デザイン	3年

科目名	学部	学科	学年
食料生産環境学	国際学部	全学科	3年
食料地理学	国際学部	全学科	3年
進化論	応生学部	全学科	2年
	生命学部	バイオ	2年
心理学概論	農学部	全学科	1年
数学	農学部	全学科	1年
	生命学部	バイオ	1年
	生命学部	微生物	1年
	地域学部	工学	1年
生化学	農学部	全学科	2年
	応生学部	健康	1年
	生命学部	バイオ	1年
	生命学部	生化	2年
生化学（一）	応生学部	醸造	2年
	応生学部	栄養	1年
生化学（二）	応生学部	醸造	2年
	応生学部	栄養	2年
生産経営概論	応生学部	全学科	3年
生物環境科学	生命学部	全学科	2年
生物統計学	農学部	動物	2年
	農学部	資源	2年
	応生学部	健康	4年
	生命学部	全学科	1年
生物無機化学	応生学部	化学	1年
	生命学部	生化	3年
生物有機化学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	2年
	生命学部	微生物	1年
生命科学	農学部	全学科	3年
生命倫理	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
測量学	地域学部	全学科	1年
畜産物利用学	農学部	動物	4年
	農学部	デザイン	2年
知的財産概論	応生学部	全学科	3年
	生命学部	全学科	3年
知的財産論	農学部	全学科	3年
調理学	応生学部	栄養	1年
	国際学部	食農	3年
地理学	国際学部	全学科	2年
哲学・倫理学	地域学部	全学科	1年
統計学	応生学部	全学科	3年
	地域学部	全学科	2年
統計基礎	国際学部	全学科	2年
糖質化学	生命学部	全学科	3年
動植物園論	農学部	全学科	3年
動物解剖学	農学部	動物	1年
	農学部	資源	2年
	農学部	デザイン	2年

科目名	学部	学科	学年
動物管理学	農学部	動物	1年
	農学部	資源	1年
	農学部	デザイン	1年
動物生理学	農学部	動物	1年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	2年
動物分子遺伝学	生命学部	全学科	3年
土壌学	農学部	農学	1年
	農学部	資源	1年
	応生学部	化学	2年
日本史	国際学部	全学科	1年
日本の森林文化	地域学部	全学科	2年
農学概論	農学部	全学科	1年
	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	1年
	生命学部	バイオ	1年
	生命学部	微生物	1年
	地域学部	創成	1年
	国際学部	食農	1年
農業インターンシップ	農学部	全学科	2年
農業気象学	農学部	全学科	2年
農業経営学	農学部	農学	2年
	農学部	動物	3年
	農学部	資源	3年
	農学部	デザイン	3年
	国際学部	経済	2年
	国際学部	ビジネス	2年
	国際学部	食農	3年
農業経済学	国際学部	開発	1年
	国際学部	ビジネス	1年
農業昆虫学	地域学部	創成	3年
	国際学部	開発	2年
農業政策論	国際学部	経済	1年
	国際学部	ビジネス	2年
農産物マーケティング論	農学部	全学科	3年
農と科学の歴史	応生学部	全学科	1年
農業化学・毒理学	生命学部	全学科	3年
バイオインフォマティクス	応生学部	醸造	3年
	生命学部	全学科	2年
バイオプロセス工学概論	応生学部	醸造	3年
	生命学部	全学科	3年
微生物学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	2年
	応生学部	栄養	1年
	生命学部	バイオ	1年
微生物環境学	地域学部	全学科	1年
病理学	応生学部	健康	2年
	応生学部	栄養	2年
プレゼンテーション英語	農学部	全学科	3年
文学	地域学部	全学科	1年
文化人類学	農学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年

科目名	学部	学科	学年
分子生物学	農学部	全学科	3年
	応生学部	化学	1年
	応生学部	健康	2年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	生化	2年
分子設計学	生命学部	全学科	3年
分析化学	応生学部	醸造	1年
	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	1年
	生命学部	生化	1年
法学入門	国際学部	全学科	1年
放射線科学	応生学部	全学科	3年
マーケティング学	応生学部	全学科	3年
マーケティング入門	生命学部	全学科	1年
無機化学	応生学部	健康	1年
	生命学部	全学科	1年
免疫学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	3年
	生命学部	バイオ	3年
	生命学部	バイオ	3年
有機化学	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	2年
	生命学部	バイオ	1年
有機化学（一）	応生学部	醸造	1年
	生命学部	生化	1年
有機化学（二）	応生学部	醸造	2年
	生命学部	生化	2年
歴史学	地域学部	全学科	1年

3 特別プログラム「グローバル教育科目」の履修登録 Global Education Program : 「Agriculture, Food and Environment」

◎「グローバル教育科目」受講の勧め

日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本および世界の食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、開講している科目です。グローバル化時代において、自分の専門分野を幅広い視点で学ぶことができ、また留学生や海外協定校学生とともに英語で学ぶ科目も多数開講しています。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強くお勧めします。

(1) 開講時期 Time Table (in 2025)

【日本語で開講される科目】

○前学期

インターナショナル・スタディーズ (一)

【特定の条件を満たした者のみ履修できる科目】

○後学期 集中

インターナショナル・スタディーズ (二)

インターナショナル・スタディーズ (三)

【英語で開講される科目 (Special Program Conducted in English)】

○前学期 First semester

Agriculture and Economic Development

Environment and Agriculture

Food and Health 1

Forest and Forestry

Introduction to Japanese Linguistics

Planning and Design of Landscape Architecture

Plants for Landscape Architecture

Global Bioindustrial Studies (offered in the third year)

○後学期 Second semester

Agroecology and Food Production

Agro-Environmental Engineering

Comparative Developing Agriculture

Ecology and Agricultural Production

Food and Health 2

Japanese Food Culture

Molecular Biology and Biotechnology

Introduction to Life Sciences emphasizing Chemistry and Microbiology (offered in the third year)

Molecular Biology and Biotechnology (offered in the third year)

Group Approach to Food and Environment (intensive)

Field Study of Food and Environment (intensive)

Sustainable Agriculture in Asia (intensive)

(2) 修得単位数について

本プログラム科目は、30 単位を上限として修得ができます。修得した単位は、東京農業大学学則第 15 条の 3 に定められているとおり、卒業単位に含めることができます。ただし、学科毎に卒業単位に含めることができる単位の上限が異なるため、注意してください。

2025 年度 グローバル教育科目（英語開講科目）ガイドライン一覧

科目名	項目	開講 キャンパス	主な履修対象者	履修者に求める英語能力※1	難易度	履修者に求める専門性	備考
Introduction to Japanese Linguistics Environment and Agriculture		世田谷 世田谷	全学生 全学生	中級以上 初級	中級 初級	日本語や英語、もしくは言語一般に興味があればよい	
Agriculture and Economic Development		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	中級	中級	-	英語でのプレゼンテーションが必須（全員）である。
Food and Health 1		世田谷	外国人留学生、 visiting student、 日本人学生	中級	中級	食品、栄養および健康に興味を持ち、ある程度の専門用語を理解できること。	毎回、異なるテーマに焦点を当てたオムニバスの講義で知識を広げます。
Forest and Forestry		世田谷	全学生	英語能力よりも学ぼうとする 姿勢を重視	初級	森林、樹木に関心があること	森林、樹木に関心のある学生。※学部学科を問いません
Global Food Systems		世田谷	全学生	初級	初級～中級	一般常識と知的好奇心があれば問題ない	
Plants for Landscape Architecture		世田谷	全学生	中級	中級	植物学に興味があること	現地見学を行う（休日）
Planning and Design of Landscape Architecture		世田谷	外国人留学生、 visiting student	中級	中級	日本の自然環境や文化	休日を活用して現地見学を数回、実施する。大人数の引率は困難である
Agro-Environmental Engineering		世田谷	全学生	初級	初級	-	
Comparative Developing Agriculture		世田谷	全学生	中級以上 （英語でディスカッションできる レベル）	中級	-	
Ecology and Agricultural Production		厚木	全学生	中級以上	中級	学部 2 年時までの必修専門科目の単位をすべて修得していること	専門的な教養を英語で施すため、ある水準以上の英語力と農学の基本的な知識を必要とする
Agroecology and Food Production		世田谷	全学生	英語の専門テキストが無理なく理解でき、英語でディスカッションできるレベル	中級以上	-	
Food and Health 2		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を理解できること	
Group Approach to Food and Environment		世田谷	日本人学生、 外国人留学生	上級	中級～上級	海外協定校の学生と英語でのディスカッションを行うための英語力と論理力を持つものとする	9月に開催される「食と農と環境を考える世界学生サミット」に議長または発表者として参加することが条件である
Field Study of Food and Environment		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、アグロエコロジーに興味を持つものとする	夏季に集中開講される「Comprehensive International Education Program (GIEP)」に参加することが条件である（約 1 週間の宿泊を伴うプログラム。参加費（航空券、宿泊費等）は自己負担）
Sustainable Agriculture in Asia		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、アグロエコロジーに興味を持つものとする	夏季に集中開講される「Comprehensive International Education Program (GIEP)」に参加することが条件である（約 1 週間の宿泊を伴うプログラム。参加費（航空券、宿泊費等）は自己負担）
Molecular Biology and Biotechnology		世田谷	全学生 （3 年次開講）	中級以上	上級	基礎的な生物学の知識を有すること	2026 年度から履修可能です。
Japanese Food Culture		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本の食に興味があるといよい	最後に日本の食、受講者のふるさとの食にまつわるプレゼンテーション課題があります。
Global Biomedical Studies		オホーツク	全学生 （3 年次開講）	初級	中級	世界の生物産業に対する興味があること	2026 年度から履修可能です。
Introduction to Life Sciences emphasizing Chemistry and Microbiology		世田谷	全学生 （3 年次開講）	未定	未定		2026 年度から履修可能です。

※ 1 英語能力の目安 初級：TOEIC300 程度 中級：TOEIC400 程度 上級：TOEIC500 以上

4 2025 年度特別講義について

(1) はじめに

特別講義は、学生の皆さんが幅広い教養・素養を身につけ、卒業後各方面で最大限に能力を発揮できるようになることを目的として開講します。本学の専門分野の教育は充実しており、その内容・成果に十分な自信を持っていますが、それに加えて、教養面での教育を重視する意味で、様々な内容による特別講義を開講します。

2025 年度の特別講義は、専門教育を補完し、社会に出て役立つ、さらに就職試験にも役立つ多分野の教養的講座として、世田谷キャンパスでは 7 コースを開講します。

なお、特別講義（一）～（四）は開講時間が重ならなければ複数履修することができ、上級学年になってからでも履修することができます。

(2) 特別講義の履修登録について

履修する場合は、次の A～H コースの中から受講するコースを選び履修登録してください。

コース	学期	曜日 / 時限	科目名	担当教員
A	通年	金 5～6	社会開発実践論	入江憲治
B	通年	水 5	東京農業大学 STEAM 教育講座	上岡美保
D	前学期	水 2	医療と放射線 (世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業)	志村一男
E	前学期	木 5	地域創生講座－地域創生の現状と課題・あるべき姿－	大林宏也
F	後学期	火 5	起業家精神と事業開発	大浦裕二
G	後学期	水 1	スポーツ栄養学 (世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業)	藤井嵩子
H	後学期	木 5	地域創生講座－農林水産業振興によるひと育て－	入江憲治

【注意事項】

開講曜日・時限が異なれば同学期に複数コースの履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義（一）」を登録し、順次（二）・（三）・（四）を登録してください。

下表にもとづき履修登録をしてください。

コース	特別講義（一）	特別講義（二）	特別講義（三）	特別講義（四）
A コース	S3600	S3601	S3602	S3603
B コース	S3604	S3605	S3606	S3607
D コース	S3612	S3613	S3614	S3615
E コース	S3616	S3617	S3618	S3619
F コース	S7600	S7601	S7602	S7603
G コース	S7604	S7605	S7606	S7607
H コース	S7608	S7609	S7610	S7611

(3) 世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業

本講義は、世田谷 6 大学コンソーシアム協定大学（国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学）間において、それぞれの大学の特色ある授業科目を他大学において開講するものである。

本学では、2025 年度の世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業として、駒澤大学の志村一男先生（ほか複数担当）による「医療と放射線」、国士舘大学の藤井嵩子先生による「スポーツ栄養学」を開講する。（2025 年度のみ開講）

(4) コース別開講目的

A コース 社会開発実践論

＜コーディネーター 国際農業開発学科 教授 入江憲治＞

グローバル化する現代社会は、変動と課題の時代である。国際社会は、世界をより良い方向に変える為に、2015年に国連が採択した「持続可能な開発目標」(SDGs)の取り組みを推進している。このような社会変革の時代には、多種多様な社会の場において、パイオニア的存在として社会が取り組むべき課題を率先して解決することが、これからの時代を生きる人に求められている。本講義では、社会の様々な分野で活躍する方々を講師に迎え、社会における苦勞、苦心、喜怒哀樂などの体験談や社会活動に対する実践的な技術、知識、手法を教授する。

B コース 東京農業大学 STEAM 教育講座

＜コーディネーター 国際食農科学学科 教授 上岡美保＞

今日、わが国の目指す社会像として、ウェルビーイングの実現や社会的分断の改善、国際的視野に基づいたSDGsへの貢献、そして全世代における学習社会の構築などのことが挙げられている。その実現のために高等教育における人材育成としては、自分の興味関心を追究しながら高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定し、その解決を多角的に、多様な人材とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造していく人材が求められている。そのための手段として、分離融合の学びや探究学習、STEAM教育の強化が重視されている。本講義では、特にSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)に視点を置き、社会課題に対するSTEAMの事例をあげながら、身近な話題を総合農学の視点から紐解いていく。

D コース 医療と放射線

＜駒澤大学 教授 志村一男ほか＞

進歩が著しいX線、CT、MRI等の画像診断や放射線治療分野について、放射線物理、放射線化学、画像診断、画像処理・解析、ITネットワーク技術、AIの活用等、幅広い視点から基礎的な内容を学ぶ。

E コース 地域創生講座－地域創生の現状と課題・あるべき姿－

＜コーディネーター 地域環境科学部長 教授 大林宏也＞

東京への一極集中、地方の過疎と少子高齢化が進行するなか、人口減少に歯止めをかけ、地域創生・SDGsの推進や若者等の雇用創出を図る。また、女性の活躍の場づくりなど、地域の雇用安定を図り、成長力を確保するための国の政策などを学び、実践し得る地域創生人材を養成する。本講義では政府の専門家によりテーマ別に関連法案、政策や予算の背景、プロセスなどを重点にその策定経緯を学ぶ。

F コース 起業家精神と事業開発

＜コーディネーター 食料環境経済学科 教授 大浦裕二＞

日本の起業家精神を持った人材および起業家を増やすことを目的とする。研究を社会実装し、事業として成長する領域までを視野に入れながら「事業を生み出す」ことを仮想的にワークショップ形式で行うことで、小さな成功体験と広い世界観を学ぶことができる。また、起業家に関する学識者を特別ゲストとして招聘し、現在の社会課題を解決するためのビジネスアイデアや国内外の起業の実例を紹介することで、地球規模の社会課題に取り組む視座と考え方も併せて学ぶ。

G コース スポーツ栄養学

＜国士舘大学 講師 藤井嵩子＞

スポーツ栄養とはコンディショニングとパフォーマンスに関する科学的理論を根拠とし、様々な実践に裏付けられた学問である。ここではスポーツ栄養の理論を踏まえた基礎的な知識の習得を目標として講義する。

H コース 地域創生講座－農林水産業振興によるひと育て－

＜コーディネーター 国際農業開発学科 教授 入江憲治＞

日本の農業人口の減少と高齢化、食料自給率低下の中で、国は農林水産業者の高齢化、後継者不足、低収益性等の課題の解決に向けて持続可能な地域創生の実現を目指す政策を策定し実行している。本講義では政府の専門家によりテーマ別に関連法案、政策や予算の背景、プロセスなどを重点にその策定経緯を学ぶ。

5 教職課程の履修登録について

(1) 履修登録までのスケジュール

① 1 年次生の履修希望者に対するガイダンス

4 月上旬 オンデマンドによる説明動画配信

学生ポータル ▶ キャビネット ▶ 【新入生】ガイダンス資料 ▶ 1. 世田谷キャンパス ▶

2. 教職課程・学術情報課程 ▶ 1. 教職課程〈教員免許状取得〉▶

★ 2025 年度新入生用教職課程紹介.pptx

② 教職履修・申込ガイダンス 履修希望者は必ず出席してください。

※世田谷・厚木キャンパスどちらのガイダンスに出席しても可。いずれか都合のよい日に出席してください。

【世田谷キャンパス】	6 月 9 日 (月)	12:20 ~ 12:50	} 131 教室
	6 月 11 日 (水)	16:20 ~ 17:00	
	6 月 13 日 (金)	16:20 ~ 17:00	

【厚 木キャンパス】	6 月 9 日 (月)	12:20 ~ 12:50	} トリニティーホール
	6 月 12 日 (木)	12:20 ~ 12:50	

履修希望者は、ガイダンス後に指定された方法で 6 月 19 日 (木) 17:00 まで に申請してください。
担当窓口：【世田谷キャンパス】教務課、【厚木キャンパス】学生教務課

③ 受講料・振り込み案内

6 月 26 日 (木) 学生ポータル (あなた宛てのお知らせ) で配信

1 免許教科 120,000 円

2 免許教科 140,000 円

3 免許教科 160,000 円

4 免許教科 180,000 円

※中学・高校理科併修の受講料は 1 免許教科分として扱う。納金した受講料は返金しません。

④ 受講料振り込み期間

6 月 27 日 (金) ~ 7 月 11 日 (金)

(2) 履修登録注意事項

① 教員免許を取得するには、「教職課程開講科目」+「各学科配当科目 (免許種ごとの科目)」で **59 単位**と、「各学科配当科目に全教員免許状取得に対し、修得必須となる科目」の **8 単位**が必要です。

② 学部・学科配当科目で取得希望する免許教科の科目 (教科によって必修、選択は異なる) は、1 年次からなるべく履修してください。学部・学科配当科目は「学生生活ハンドブック」の授業科目配当表で確認してください。

③ 教育実習派遣条件を満たすため、「スポーツ・レクリエーション (一) (二)」「日本国憲法」を 3 年次修了までに修得してください。

④ 教職課程の専門科目は 1 年次後学期から開講されます。後期履修登録期間に履修登録を行ってください。(後期履修登録期間より履修登録が可能です。)

⑤ 教職科目は教職科目時間割表で開講科目を確認し、必修科目であっても履修登録してください (教職科目は自動登録にはならない)。

⑥ 複数開講している同名科目は受講する日時を選択し、履修登録してください (学科指定開講科目を除く)。
※世田谷・厚木両キャンパスで開講している科目は、学科指定のある科目を除き履修することができます。

⑦ 実験科目は受講学科を定めて開講しているので、確認のうえ履修登録してください。

6 学術情報課程の履修登録について

(1) 学部1年次生の履修申請

① 受講希望者に対するガイダンス履修説明会の実施

※世田谷・厚木キャンパスどちらのガイダンスに出席しても可。いずれか都合のよい日に出席してください。

【世田谷キャンパス】	11月7日(金)	12:20～12:50	} 131 教室
	11月13日(木)	12:20～12:50	
【厚木キャンパス】	11月11日(火)	12:20～12:50	} トリニティーホール
	11月18日(火)	12:20～12:50	

② 受講料

学芸員資格(単修) 130,000 円

司書資格(単修) 130,000 円

学芸員・司書資格(併修) 180,000 円

※納金した受講料は返金しません。

③ 履修許可者発表・振り込み案内

2026年1月(詳細は履修説明会で説明)

④ 申込先

【世田谷キャンパス】 教務課

【厚木キャンパス】 学生教務課

(2) 履修登録注意事項

① 学術情報科目は学術情報科目時間割表で開講科目を確認し、必修科目であっても履修登録してください(学術情報科目は自動登録にはならない)。

② 複数開講している同名科目は受講する日時を選択し、履修登録してください(学科指定開講科目を除く)。

※世田谷・厚木両キャンパスで開講している講義科目は、学科指定のある科目を除き履修することができます。

7 特別プログラム「日本語教育科目」の履修登録

この科目は、外国人留学生及び帰国生を対象として開講する授業科目です。**修得した単位は、卒業要件として他学部履修・他学科履修・他の特別プログラムと合わせて30単位まで含めることができます。**

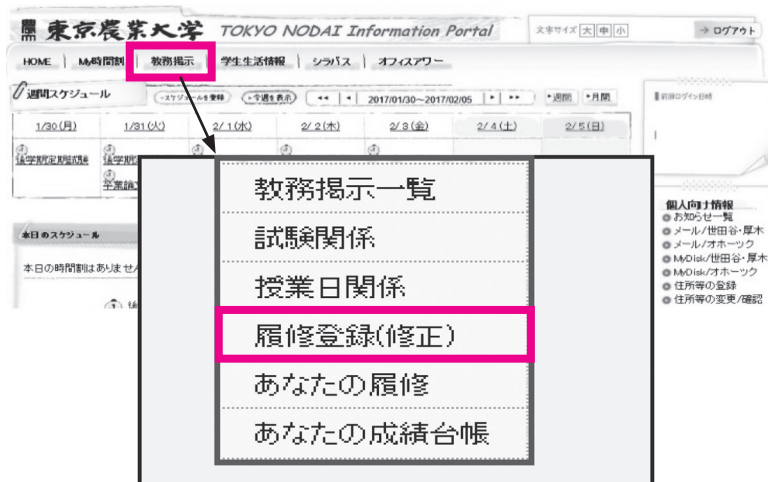
8 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録

※ 学務課窓口で確認してください。

9 履修登録の方法

履修登録は学生ポータル「履修登録（修正）」から行います。登録方法は以下のとおりです。

(1) 「履修登録（修正）」



- ①「教務掲示」を選択
- ②「履修登録（修正）」を選択

【注意】
住所等の変更 / 確認を行っていない学生は、Web 履修システムを利用することができません。

(2) 履修登録（修正）画面

履修登録(修正)

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時間を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2023年 前学期 2023年 後学期

未登録 登録済 変更不可

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		再履修 S7125 水理学 関澤 幸他	再履修 S7131 水理学演習 関澤 幸他		S7144 地域と文化(工学) 渡辺 智巳
2時限			S7150 専攻演習(一)(広域環境情報学研究室) 奥田 茂他		
3時限	S7100 土と水の環境 関澤 幸他			再履修 S7114 基礎力学 川島 太他	
4時限	再履修 S7101 材料力学 川島 太		B → 再履修 S7115 基礎力学演習 川島 太他		S7124 情報処理工学 岡山 純子他
5時限	他 財政学	A ← S7023 科学の歴史(森林・工学) 松崎 茂			
6時限					
7時限					

C →

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	22	22	44	-
下限		-	-	-	-
上限	他所属	-	0	2	16
					2(0)

初期表示は該当年度・学期の登録画面であり、自動登録されている科目を表示しています。

A 他所属講義

他所属を表す画像 [他] が表示されます。

B 再履修科目

再履修を表す画像 [再履修] が表示されます。

C 履修単位

学期、年間、累積（他所属のみ）の履修単位数を確認できます。

- ・ 黒字：学期、年間は制限単位数
- ・ 赤字：履修中の単位数の合計
- ・ 累積：今まで履修してきた単位数 + 登録中の単位数の合計を表示します。カッコ内には登録中の単位数のみ表示されます。

(3) 科目の検索・登録方法

新規で科目を履修登録する4つの方法について

a. [] からの登録

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録 登録済 変更不可	
時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	 他 S6517 花卉栽培論 201507の氏名(略)			 O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(略)	
2時限		 S8179 生物物理化学【旧 カリ】 201609の氏名(略)		 O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(略)	
3時限	 S6263 共通演習 101547の氏名(略) 他		  再履修  有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(略)		

開講科目選択

2016年 後学期 月曜日 2時限

開講科目を選択してください。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
☐	O3154		TOEIC英語(二) 生	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	須田 誠			
☐	O3232		TOEIC英語(二) ア	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	朝田 正司			
☐	O3331		TOEIC英語(二) 食	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	間山 愛			
☐	O3471		TOEIC英語(二) 産	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	南田 育江			
☐	O5392		TOEIC英語(二) ア	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	宮坂 里奈			
☐	S0640	必	英語(四)セ光~旧2 A	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	榎本 悠太	☐	☐	

閉じる 登録する

①-1. 時間割表にある新規追加
[] を押します。

①-2. 開講科目選択の画面に
所属学部・学科科目と全学共通
科目が表示されます。

表示されている開講科目から選択し
[登録する] を押します。

b. [開講科目検索] からの登録

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201507の氏名(略)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(略)	

開講科目検索

2016年 後学期

開講科目の検索条件を入力してください。

検索条件	検索結果
曜日	
時限	
開講番号	(前方一致)
開講科目名	(部分一致)
分野系列	
担当教員	(部分一致)

閉じる 開講科目を検索する

②-1. 開講科目を検索して登録します。
[開講科目検索] を押します。

②-2. 検索画面が表示されます。

注意 開講番号の左のアルファベット

4桁の数字の前に、
必ず半角大文字でSまたはAを入力してく
ださい。

「S○○○○」世田谷キャンパスの科目

「A○○○○」厚木キャンパスの科目

c. [他所属講義選択] から登録

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 **他所属講義選択** 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(略)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(略)	

他所属講義選択

2016年 後学期

他所属講義を選択してください。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有科	情報
☒	S6517		花卉栽培論 農学2	他学部履修	2	山之内 典夫			他

③-1. 他所属講義（他学部・他学科所属）を登録します。
[他所属講義選択] を選択します。

③-2. 他所属講義選択画面に表示されている科目を選択し、[登録する] を押します。

※ 他所属講義科目を追加表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、[開講科目を追加する] を押すと登録できます。

d. [集中講義選択] からの登録

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期	2016年 後学期	未登録	登録済	変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(略)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(略)	

集中講義選択

2016年 後学期

集中講義を選択してください。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有科	情報
☐	O1139		特別講義(一) 生 A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	高橋 幸助			集中
☐	O1235		特別講義(一) ア A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	長谷川 根			集中
☐	O1306		特別講義(一) 食 A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	沖田 太郎			集中
☐	O1448		特別講義(一) 産 A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	中山田 正人			集中
☐	O1504		日本経済(一) 基 新カリ	全学共通	2	小向 マリナ			集中

④-1. 集中講義を登録します。
[集中講義選択] を選択します。

④-2. 集中講義選択画面に表示されている科目から選択し [登録する] を押します。

(4) 科目の削除

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録 登録済 変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S8517 花卉栽培論 201357の氏名(略)			Q1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(略)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カリ】 201653の氏名(略)		Q1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(略)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(略) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(略)		

登録中の「登録科目名」を選択すると、削除画面へ遷移します。

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

(5) 登録内容が反映された履修登録画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所講義選択 開講科目検索

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録 登録済 変更不可	
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S8517 花卉栽培論 201357の氏名(略)			Q1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(略)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カリ】 201653の氏名(略)		Q1356 情報基礎(二) 食 新カリ 203503の氏名(略)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(略) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(略)		
4時限	再履修 有料履修 Q1144 英語(二) 生 A 新カリ 200215の氏名(略)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8098	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期		後学期		年間		累積	
上限	履修単位	22	5	22	11	44	16	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所履	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所履他大学、他学部、他学科

入力内容を確認する

前述 (3)～(4) の手順を繰り返し、科目を選択し終えたら、[入力内容を確認する]を押します。

この時点では、まだ履修登録は完了していません！

(6) 履修登録内容確認画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

入力画面へ戻る

2016年 前学期 2016年 後学期

未登録 登録済 変更不可

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201557の氏名(輪)			Q1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(輪)	
2時限		S8179 生物物理化学(旧 カリ) 201659の氏名(輪)		Q1356 情報基礎(二) 食 新カリ 201503の氏名(輪)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(輪) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(輪)		
4時限	再履修 有料履修 Q1144 英語(二) 生 A 新カリ 200215の氏名(輪)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8098	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期		後学期		年間		累積	
上限	履修単位	22	5	22	13	44	18	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

入力画面へ戻る

この内容を登録する

内容を確認のうえ、問題なければ
[この内容を登録する]を押します。

(7) 履修登録完了画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

以下の内容を登録しました。

プレビューで確認して下さい

印刷する

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 201557の氏名(輪)			Q1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 201503の氏名(輪)	
2時限		S8179 生物物理化学(旧 カリ) 201659の氏名(輪)		Q1356 情報基礎(二) 食 新 カリ 201503の氏名(輪)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(輪) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(輪)		
4時限	再履修 有料履修 Q1144 英語(二) 生 A 新カリ 200215の氏名(輪)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8098	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期		後学期		年間		累積	
上限	履修単位	22	5	22	13	44	18	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科

登録番号: 108

履修登録が完了すると画面右下に
[登録番号]が表示されます。

右上の[印刷する]を押して必ず印刷
または画面データを保管してください。
(修正した場合も同様)
問合せ時に、根拠資料として
「登録番号」が必要です。

この時点で、履修登録が完了!!

(すぐにはスケジュールやMy時間割等に反映されません。正式な反映は履修確認日以降です。)

(8) 履修登録ができない場合



①「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。履修登録を行うためには、「本人現住所の確認」等を行ってください。

②メニュー画面から「住所の変更 / 確認」を選択します。
※毎学期、履修登録を行う前に住所の確認が必要です。

10 履修確認について

- (1) 履修確認日に学生ポータルで履修登録状況を確認してください。
(日程は9ページを参照)
- (2) 履修登録内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルから修正してください。

履修登録内容の確認

- ☐ 登録した科目が正しく登録されていますか
 - ☐ 科目名・担当教員名・クラスに間違いはありませんか
 - ☐ 履修登録をしていない科目が表示されていませんか
- ★履修登録していない科目は、授業に出席しても単位は修得できません

- (3) 履修確認日以降に、学生ポータルで履修登録状況を最終確認してください。(日程は9ページを参照)

11 WebClass の利用について

WebClass は、本学で導入している PC・スマートフォンからアクセスできる学習支援システム（LMS）です。授業に関するお知らせ、教材の配信、テストの受験、出席管理等に利用します。また、学生ポータルと同じユーザー ID とパスワードを使用してログインします。主な利用方法については以下に記載しています。その他の機能については WebClass 「マニュアル」タブにあるマニュアルを参考にしてください。

※パソコン用画面に沿った説明を記載しています

※画面はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります

(1) ログイン方法



大学ホームページ [在学生の方] や学生ポータルの上部メニューバー等にもリンクがあります。

WebClass ログイン URL
<https://lms.nodai.ac.jp/>

[WebClass にシングルサインオンする]を選択し、ユーザ ID とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。

【重要】WebClass をクリックしても反応がない場合（もしくはエラーの表示が出る場合）

主にスマートフォンでのログイン時の発生が報告されています。ブラウザの「ポップアップブロック」をオフにするか「閲覧履歴の消去」（対象期間は任意で選択）を行ってみてください。それでも解決しない場合は教務課に問い合わせてください。（下には参考までに主なブラウザでの設定方法を簡単に記載しています）

◇ ポップアップブロック

Safari：本体の「設定」→「Safari」→「一般」→「ポップアップブロック」をオンからオフに切り替える。

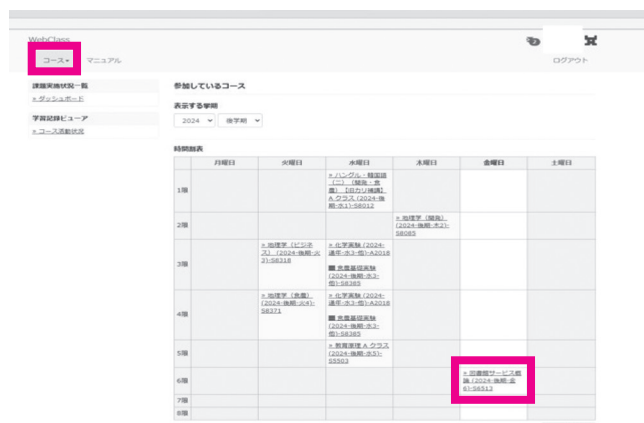
Chrome：アプリの「設定」→「権限」→「ポップアップとリダイレクト」をオフにする。

◇ 閲覧履歴の消去

Safari:本体の「設定」→「Safari」→「履歴と Web サイトデータを消去」を選択し、履歴を消去する。

Chrome:アプリの「[...]」などのその他アイコン → 「履歴」 → 「閲覧履歴データの削除」から履歴を削除する。

(2) コースの見方



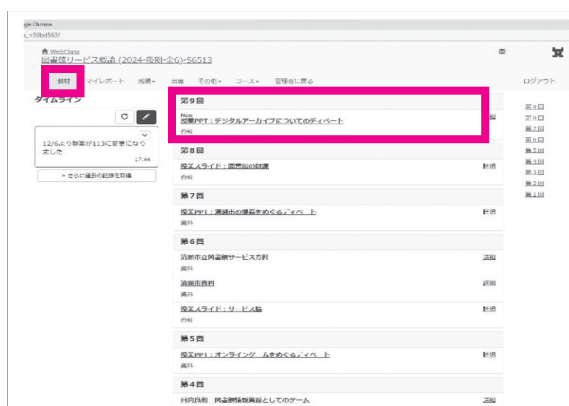
※「コース」とは科目のことを指します。

WebClass トップページ（時間割画面）から確認したいコースを選択します。



コースごとのページに遷移し、「教材」タブが開きます。コース内では、教材の閲覧、テストの受験、出席の送信などを行うことができます。

(3) 教材の閲覧方法

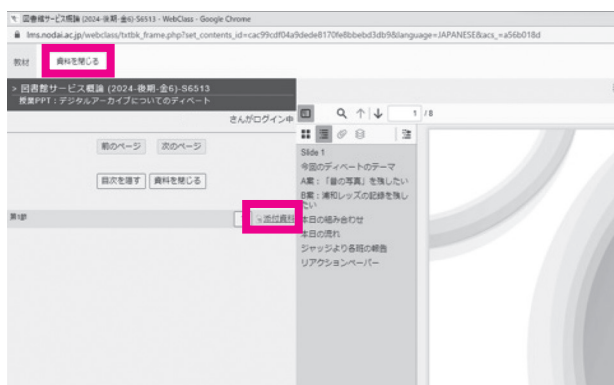


WebClass 内での「教材」には

- ・資料
- ・レポート
- ・テスト
- ・アンケート

などの種類があります。

「教材」タブを選択した状態で、表示されているの中から選んでクリックします。



左のように資料が表示され、WebClass 上で閲覧することができます。「添付資料」と表示されている場合はダウンロードすることができます。[資料を閉じる]を押すと、コース画面（教材タブ）に戻ります。

(4) テストの受験

インドネシア語 (二) 小テスト3回目

- ※ 制限時間 [20 分]
- ※ 利用可能時間 [2024/10/22 11:50~2024/12/22 12:10]
- ※ 対象のメンバーだけに表示される教材です。

開始 **終了**

教材の中から受験するテスト（試験）を選び、[開始] をクリックします。

【要注意】 テスト開始後、ウィンドウを閉じる、別のウィンドウを開く、別のアプリの起動・遷移等を行うと、**テストを続けられなくなる場合があります。**

受験前に通信環境を確認した上で開始し、**絶対に途中でウィンドウを閉じないようにしてください。**

※推奨機器：PC、タブレット

インドネシア語 (二) A クラス (2024-後期-火2)-S8005 - WebClass - Google Chrome

lms.nodai.ac.jp/webclass/qstn_frame.php?set_contents_id=3ef42d9019387622357adecf3509a919&language=JAPANESE&rnd=b290

教材 **終了**

> インドネシア語 (二) A クラス (2024-後期-火2)-S8005
インドネシア語 (二) 小テスト3回目

制限時間 20 分 (残り 20 分)
期限 2024-12-22 12:10

設問 1 () に適切なものを選びましょう。
第3講までに学習した動詞は、() 種類である。
1. ☐ 1
2. ☐ 2
3. ☐ 3
4. ☐ 4

設問 2 () に適切なものを選びましょう。
() 動詞とは、単語の() が動詞に分類されるもので、数はそれほど多くないが、
1. ☐ 語根
2. ☐ 接頭辞
3. ☐ 接尾辞
4. ☐ 前置詞

テストの設問と解答欄が表示されるので全て解答してください。

設問 19 下の説明が正しければ、1、間違っていれば2を選びましょう。
『インドネシア語は、インドネシア共和国の地方語の1つである。』
1. ☒ 正しい
2. ☐ 間違い

設問 20 下の説明が正しければ、1、間違っていれば2を選びましょう。
『インドネシア共和国の首都は、現在のジャカルタからカリマンタン島に移転する。』
1. ☒ 正しい
2. ☐ 間違い

終了

解答を終えたら [終了] をクリックします。

教材 **終了**

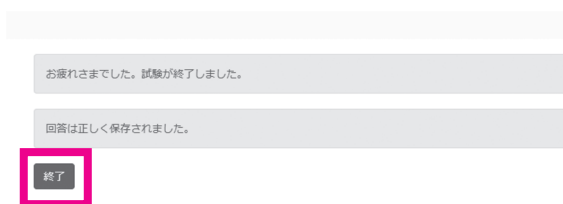
> インドネシア語 (二) A クラス (2024-後期-火2)-S8005
(Copy 1) インドネシア語 (二) 小テスト1回目

制限時間 20 分 (残り 19 分)
期限 2024-12-22 12:10

まだ全ての問いに答えていませんが
本当にこのまま終了しますか？
[戻る]ボタンで回答画面に戻ります。

戻る **終了**

未解答の設問がある場合、左のようにメッセージが表示されます。[終了] を選ぶと戻ることはできなくなります。修正したい場合は [戻る] から該当の設問へ戻り、最終確認してから「終了」をクリックしてください。



正常に終了すると、左のようにメッセージが表示されますので「終了」をクリックしてください。

(5) 出席の送信



コースごとのページの「出席」タブを開くと、授業日が一覧で表示されるので、日付をクリックします。

出席	教科名	状態	出席回数	パスワード	IPアドレス制限	開始・終了時刻	操作
2024/09/22-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/09/27 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/09/27 19:30 -	履歴[0]
2024/10/04-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/10/04 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/10/04 19:30 -	履歴[0]
2024/10/18-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/10/18 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/10/18 19:30 -	履歴[0]
2024/10/25-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/10/25 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/10/25 19:30 -	履歴[0]
2024/11/08-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/11/08 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/11/08 19:30 -	履歴[0]
2024/11/15-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/11/15 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/11/15 19:30 -	履歴[0]
2024/11/22-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/11/22 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/11/22 19:30 -	履歴[0]
2024/11/29-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/11/29 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/11/29 19:30 -	履歴[0]
2024/12/06-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/12/06 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/12/06 19:30 -	履歴[0]
2024/12/13-6	欠席	1回	あり	-	-	出席日: 2024/12/13 18:00 - 19:29 欠席日: 2024/12/13 19:30 -	履歴[0]

2024/12/06-6

出欠を取りますのでボタンをクリックしてください。

* 実行回数 (4回まで) 入力してください。

**** 18:00~2024/12/06 19:29

* あと 1 回実行できます。

開始 終了

教員が指定したパスワードを入力し、「開始」をクリックします。

今日の出席を取ります。

1. **出席します**

(10)

[前のページ] [次のページ]

出席データを送信する

「出席します」のラジオボタンを押し、「出席データを送信する」をクリックします。

※通信環境によっては、出席データが反映されない場合がありますので、速やかに送信するようにしてください。ホーム画面に戻り、「出席」タブをクリックし、「履歴」をクリックすると確認することができます。



出席データの送信を確認し、
[終了] をクリックしてください。

(6) マニュアル



授業によっては、ここに掲載して
いない機能を使う可能性があります。
WebClass トップページ「マニュアル」
タブから必要に応じてマニュアルを
確認してください。

(7) コースの追加と退会

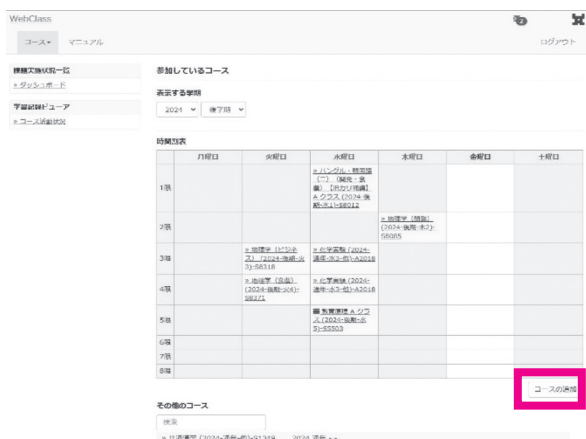
履修登録・修正した科目は翌日以降に WebClass の時間割にコースとして自動的に反映され、登録されて
いる科目のコースページを利用できるようになります。WebClass からは履修登録・削除はできません。

a. コースの追加

履修登録よりも前、または履修登録したあとで WebClass に未反映の状態 WebClass の時間割にコースを
追加したい場合のみ、手動で個別に追加を行うことができます。

[例：履修登録を検討中の科目の1回目の授業に出席し出欠確認を WebClass で行う指示があった場合]

履修登録が反映されるまで待つことができる場合は、追加の必要はありません。なお、追加は履修登録・
修正期間中にのみ行うことができます。履修開示後は追加・削除はできません。



WebClass トップページ「時間割表」の下
までスクロールし、[コースの追加] を
クリックします。

参加可能なコース

2024 ▼ 後学期 ▼

時間割 一覧

食農基礎実験

»全ての参加可能なコースを表示する

»食農基礎実験 (2024-後期-水3-他)-S8385

食農基礎実験 (2024-後期-水3-他)-S8385

このコースについて

年度 2024
学期 後学期
時間割 水曜日 3限, 水曜日 4限

コースへの参加 学生はこのコースを検索して参加できます

コースへの参加

メンバーになる

※user権限でコースに参加します。

追加したいコースの[年度][学期]を指定後、「一覧」タブの検索枠または「時間割」タブの表の「»追加」から追加したいコースを探して選択します。

コース名・年度・学期・曜日時限・コース管理者(担当教員)・開講番号を確認し、「メンバーになる」をクリックします。

WebClass トップページ上の時間割表に追加されるので確認してください。

b. コースの退会

基本的にはコースの退会を行う必要はありません。先述のとおり履修登録・修正で削除した科目は翌日以降に自動反映されるためです。ただし、履修登録期間中に誤ったコースを手動で追加してしまったなどの場合には、コースから退会することができます。

マイレポート 成績 ▼ 出席 その他 ▼ コース ▼

イン

第9回

開講情報

アクセスログ

あなたの利用状況

権限 user
利用回数 4回
利用時間 00:22:29

このコースから退会する

本当にこのコースから退会しますか？

本当にこのコースから退会しますか？

このコースから退会する

閉じる

WebClass トップページ上の時間割表から退会したい科目を開き、「コース」タブから「開講情報」をクリックします。

表示された画面の下までスクロールし、「このコースから退会する」をクリックします。

「本当にこのコースから退会しますか？」という確認画面が表示されるので、ここでも「このコースから退会する」をクリックします。WebClass トップページ上の時間割表から消えていることを確認してください。

12 遠隔授業の受講方法

(1) 遠隔授業とは

パソコンやタブレットを使い、インターネットを介すことで、講義を受ける形態のことです。学生ポータルを通じて配信される在宅学習用教材（オンデマンド型）の閲覧や、講義を録画した動画を閲覧することで学習し、指示された課題やレポートを提出し受講します。なお、できるだけ授業日に受講してください。

(2) 受講方法・流れ

授業科目により実施方法が異なりますので、シラバス、講義連絡等による指示に従ってください。本学では、対面授業で実施している講義も遠隔授業を組み合わせ実施しています。授業担当者からの指示がありますので、注意するようにしてください。

①授業前日まで

シラバス	学生ポータル「シラバス」から該当科目を検索し、授業内容、実施方法、予習内容等を確認してください。
------	--

②授業 30 分前まで

講義連絡	学生ポータル「My 時間割」から講義を選択すると確認できます。
------	---------------------------------

③授業開始

実施方法	詳細
配信ツール	Zoom による双方向リアルタイム通信 (授業時間はミーティングに参加)
教材	学生ポータル「在宅学習用教材フォルダ」からダウンロード
出席確認	WebClass または点呼

(3) 受講する際の推奨機器、推奨スペック

①受講する際の推奨機器

「ノート型パソコン」または「タブレット（キーボード付）」をお勧めします。スマートフォンは、レポートの作成やオンラインでの小テスト受験等に適しておらず、パソコンやタブレットに比べて学習環境としては不十分です。また、キャンパス内では、Wi-Fi 環境が整備されていることから、持ち運び可能なノート型パソコンやタブレットであれば、通信量を気にせず、オンデマンド教材のダウンロード等が可能です。

(学内の Wi-Fi 環境については、情報教育センター HP をご確認ください。)

②使用する機器の推奨スペック

遠隔授業を受講するための環境の推奨スペックは下記の通りとなります。新規に購入する場合や買い替えの際は参考にしてください。

- OS Windows10 以上 64Bit ※1
- CPU Intel なら Corei3 以上、AMD なら Ryzen3 以上
(※2 特定学部：Intel なら Corei5 以上、AMD なら Ryzen5 以上)
- メモリ 8GB 以上 (※2 特定学部：GPU 搭載または GPU 非搭載の場合はメモリ 16GB 以上)
- ディスプレイ解像度… 1360 × 768 以上 (※2 特定学部：1920 × 1080 以上)
- 内蔵記憶 250GB 以上 (SSD 推奨)
- Wi-Fi、カメラ、マイク及びスピーカー内蔵 (外付可)

※1 Mac の利用も可能としますが、大学として一部サポートできないことがあります。

※2 特定学部：地域環境科学部・国際食料情報学部

大学がライセンス契約し無料で使用できる ArcGIS、AutoCAD を個人のパソコン等にインストールする場合の推奨スペック (インストールは任意です)。

なお、新たにパソコン等を購入される場合、Office365 ソフト (Word、Excel、PowerPoint、Access 等) は、大学がライセンス契約しているため、無料で使用できます。同ソフトを購入する必要はありません。

13 教材フォルダの使い方

本学では、授業に必要な教材を学生ポータル「講義連絡」や「在宅学習用教材 (Microsoft OneDrive)」、「WebClass」から配信しています。ここでは「在宅学習用教材」のダウンロード方法について説明します。

【注意事項】

- ◇ 教材はMicrosoft Officeを使用しています。必要な方は「新入生のための農大ネットワーク利用ガイド」を参照し、インストールしてください。
- ◇ 各自の農大メールアドレス (〇〇〇〇@nodai.ac.jp) でログインしてアクセスしてください。
- ◇ パソコンまたはタブレットでの学習を推奨しています。
- ◇ 教材をオンライン上で閲覧するとうまく動作しない場合があります。必ず**ダウンロード**して学習してください。

The screenshot shows the Tokyo Nodai Information Portal interface. On the left, there is a navigation menu with links like HOME, My Time, Course Information, etc. The main content area is titled '在宅学習用教材 (9/18～後学期)' and lists various materials available for download. A red box highlights this section, which includes links for different departments and faculties, such as Agriculture, Veterinary Medicine, and Engineering. The right sidebar contains additional links and information, including a login section and a list of recent updates.

「在宅学習用教材」から該当科目の開講学部を選択してください。

14 Forms の使い方

Forms は、ブラウザを利用した Microsoft のアプリケーションです。本学では各種アンケートや小テスト、試験等で使用します。アクセスに必要な URL は、主に学生ポータル「あなた宛のお知らせ」や「講義連絡」で周知します。

(1) Forms へのアクセス（講義連絡の場合）

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート

教務情報(講義連絡情報)

←一覧画面へ戻る

講義連絡対象の時間割

曜日時限	開講科目	教員	教室	学期
水6限 (18:00~19:30)	英語(四)		教室	後学期

講義連絡の詳細

メッセージ種別	講義連絡
送信者	
タイトル	
詳細	
URL	https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=LP55PRkhOK-HSRtr3SiAeRC5IX-aJ1Chuo9VLUHhUuNIVDUU

教務情報

- 教務掲示一覧
- 授業日関係
- 履修関係
- 試験関係

履修成績

- 履修記録(修正)
- あなたの履修
- あなたの成績台帳

- ①「教務掲示」を選択
- ②「教務掲示一覧」をクリック

(2) サインイン

Microsoft サインイン

電子メールアドレスまたは電話番号

パスワードを入力

次へ

東京農業大学 Web認証システム

利用者のIDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。

パスワードを入力

ログイン

①サインインを求める画面が表示されたら、各自の農大のメールアドレスを入力し、[次へ]を押してください。

② Web 認証システム画面が表示された場合は、パスワードを入力し [ログイン] を押してください。

(3) 解答方法

6月1日小テスト

6月1日の授業内容に関する小テストです。

kyoumu さん、このフォームを送信すると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

1. 東京農学校の設立は何年？ (2点)

☐ 1891年

☐ 1893年

☐ 1925年

送信

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。パスワードを記載しないでください。

Powered by Microsoft Forms | プライバシーと Cookie | 利用規約

③ Forms にログインし、解答画面が表示されます。

※解答時間が設定されている場合は 59秒までが解答時間となりますので、注意してください。

【例】9時までの場合、8時59分59秒まで

15 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは授業科目に採番ルールに基づく番号を付し、学修内容の順次性や科目間の関連性を示すことで、教育課程（カリキュラム）の体系性を明確にするとともに、学生に目的意識及び計画性を持って学修させることを目的とします。

シラバスに科目ナンバリングを記載しています。

※科目ナンバリングの採番ルール等については学生ポータルのカビネットから確認できます。

16 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を 39 ページから 53 ページで学科別に記載していますので、参考にしてください。

【注意】履修モデルに記載されている科目のみで卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。当該学科の卒業要件単位（必修・選択必修・選択科目）、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得（受験資格を含む）することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学年度の「学生生活ハンドブック」（授業科目配当表）を参照してください。

応用生物科学部 農芸化学科 履修モデル

コース		全モデル共通	企業（製造・技術）	企業（営業職）	就農	自営業	公務員	教員	大学院
開講区分	概要	全モデル共通で履修が望ましい科目	企業（製造・技術）	企業の営業職にふさわしい多岐にわたる幅広い知識を養うことを目指す	化学の知識を活かし新たな農業を展開することを目指す	幅広い科学の知識を身につけた経営戦略を立てることを目指す	幅広い知識と一般常識を身につけて公務員を目指す	幅広い知識を得て教育職に就くことを目指す	高度な専門知識と判断力を有する人材を育成することを旨とする
	導入科目	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）							
総合教育科目	導入科目	スポーツ関係科目							
		課題別科目							
外国語科目	導入科目	就職準備科目							
		実用英語科目（二） 実用英語（三）	実用英語（四）	キャリアデザイン（二） 実用英語（四）	キャリアデザイン（二） 実用英語（四）	キャリアデザイン（二） 実用英語（四）	キャリアデザイン（二） 実用英語（四）	キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一）
専門教育科目	導入科目	初修外国語科目							
		人文科学分野科目	農と科学の歴史	農と科学の歴史	農と科学の歴史	農と科学の歴史	農と科学の歴史		科学と哲学
学科教育科目	導入科目	社会科学分野科目	経済入門 現代の環境問題	経済入門	経済入門 現代の環境問題	経済入門 現代の環境問題	経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 現代の環境問題	経済入門 現代の環境問題
		自然科学分野科目	物理学 統計学	統計学	地学 統計学	統計学	物理学 統計学	物理学 地学	物理学 統計学
学科専門科目	導入科目	実験データ解析概論	知的財産概論 マーケティング学	知的財産概論 マーケティング学	マーケティング学	知的財産概論 マーケティング学	知的財産概論 マーケティング学	マーケティング学	知的財産概論
		専門基礎科目	発酵化学 環境無機化学 食品学概論						
専門応用科目	導入科目	生物有機化学 細胞生物学 栄養生理学 食品製造学 食品製造学実習 農芸化学実験 肥料・植物栄養学 食品機能化学	遺伝子工学 免疫学 工場管理論 植物病理学	免疫学 植物病理学	植物病理学		遺伝子工学 免疫学	植物病理学 工場管理論	植物病理学 工場管理論
		総合科目	実験計画法			実験計画法	実験計画法	実験計画法	実験計画法 農芸化学特論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 醸造科学科 履修モデル

コース		製造技術職	営業職	自営業	教員・公務員	進学・研究職
開講区分	概要	飲食産業等で製品の製造に携わる者	飲食産業等で営業活動に携わる者	醸造業あるいは食品製造の経営に携わる者	教職員や県、市町村の職員を目指す者	大学院への進学または企業で研究職を目指す者
	導入科目	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)	データサイエンス基礎 (一)	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)
総合教育科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション (一)	スポーツ・レクリエーション (一)	スポーツ・レクリエーション (一)	スポーツ・レクリエーション (一)	スポーツ・レクリエーション (一)
	就職準備科目	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)
外国語科目	学部共通科目	実用英語 (三) 実用英語 (四)	実用英語 (三) 実用英語 (四)	実用英語 (三) 実用英語 (四)	実用英語 (三) 実用英語 (四)	実用英語 (三) 実用英語 (四)
専門教養科目	学科学分野科目	科学と哲学	農と科学の歴史	農と科学の歴史	生命倫理	科学と哲学
	社会科学分野科目	現代の環境問題	経済入門	経済入門	日本国憲法	現代の環境問題
学科学分野科目	自然科学分野科目	統計学	統計学	統計学	統計学	統計学
	専門共通科目	機器分析概論 実験データ解析概論	食品工学概論 マーケティング学	生産経営概論 マーケティング学	食品工学概論	機器分析概論 知的財産概論
専門基礎科目	専門基礎科目	分子生物学実験			分子生物学実験 分子生物学	分子生物学実験 分子生物学
	専門応用科目	食品微生物学 食品加工学 環境管理論 環境技術論	食品加工学 味噌醸造学 醤油醸造学 醸造酒造学 蒸留酒造学	味噌醸造学 醤油醸造学 醸造酒造学 蒸留酒造学 環境管理論	食品微生物学 食品機能学 酵母学 環境化学	食品機能学 バイオインフオマティクス 応用酵素学
特別プログラム	総合化科目	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習	醸造科学特別実習
				インターナショナル・スタディーズ (一)		

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 食品安全健康学科 履修モデル

コース		企業（製造技術職）	企業（研究開発職）	公務員	教員	大学院進学
開講区分	概要	企業で安全性管理が求められる技術職に就くことを目指す	企業で商品開発に関わる研究職に就くことを目指す	公務員試験に合格し、行政の立場から食に関わることを目指す	幅広い知識を得て教育職に就くことを目指す	大学院博士前期課程および後期課程への進学を目指す
	全学共通科目	導入科目	データサイエンス基礎（一）	データサイエンス基礎（一）	データサイエンス基礎（一）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）
総合教育科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）	スポーツ・レクリエーション（一）
	就職準備科目	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）
外国語科目	学都共通科目	実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（三） 実用英語（四）
専門教育科目	学科教養科目	人文科学分野科目	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史
		社会科学分野科目	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題
	学科専門科目	専門共通科目	食品工学概論 機器分析学概論	放射線科学	放射線科学 細胞機能学	実験データ解析概論 細胞機能学
		専門基礎科目	科学英語演習	科学英語演習	科学英語演習	科学英語演習
	専門応用科目	食品安全健康学実験（所属研究室担当実験） リスクマネジメント演習 インターナショナルフードアセスメント 病態分子生物学 感生科学 リスクマネジメント総合演習	食品安全健康学実験（所属研究室担当実験） リスクマネジメント演習 インターナショナルフードアセスメント 病態分子生物学 感生科学 リスクマネジメント総合演習	食品安全健康学実験（所属研究室担当実験） リスクマネジメント演習	食品安全健康学実験（所属研究室担当実験） インターナショナルフードアセスメント 感生科学	食品安全健康学実験（所属研究室担当実験） 病態分子生物学 生理活性物質学

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

応用生物科学部 栄養科学科 履修モデル

コース		病院・保健所・学校・福祉施設等	企業	公務員	大学院進学	栄養教諭	理科教諭
開講区分		概要					
総合教育科目	全学共通科目	病院や行政などで管理栄養士として働くことを目指す	企業で商品開発・技術職に就くことを目指す	公務員試験に合格し、行政の立場から食に関わることを目指す(各府庁、地方公務員、食品衛生監視員等)	大学院博士前期課程および後期課程への進学を目指す	小学校・中学校・高校にて栄養教諭に就くことを目指す	中学校・高校にて理科教諭に就くことを目指す
		導入科目	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)		データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)		データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)
外国語科目		スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)		スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)
	学部共通科目	実用英語科目	実用英語 (三) 実用英語 (四)	実用英語 (三)	実用英語 (三) 実用英語 (四)		
専門教育科目		人文科学分野科目	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史	生命倫理 科学と哲学 農と科学の歴史
	社会科学分野科目	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題	日本国憲法 経済入門 現代の環境問題
	自然科学分野科目	生物学 化学 統計学	生物学 化学 統計学	生物学 化学 統計学	生物学 化学 統計学	生物学 化学 統計学	生物学 化学 物理学 地学 統計学
	専門共通科目	実験データ解析概論 食品工学概論 機器分析学概論 知的財産概論 実験データ解析概論 マーケティング学	知的財産概論 実験データ解析概論	知的財産概論 実験データ解析概論	食品工学概論 機器分析学概論 知的財産概論 実験データ解析概論 細胞機能学	実験データ解析概論	知的財産概論 実験データ解析概論 細胞機能学 放射線科学 機器分析学概論
	専門基礎科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目	管理栄養士資格関係科目
	専門応用科目	薬理学 スポーツ栄養学 医療フードコーディネート演習 栄養疫学 アクティブラーニングによる医栄養学 (一)。(二)	食品開発論 起業論	栄養疫学	食品開発論 栄養疫学	スポーツ栄養学	スポーツ栄養学
	総合化科目	管理栄養士関係科目	管理栄養士関係科目	管理栄養士関係科目	管理栄養士関係科目	管理栄養士関係科目	管理栄養士関係科目

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 バイオサイエンス学科 履修モデル

コース			大学院進学			就職			
開講区分	概要	植物分野	動物分野	細胞分子機能分野	公務員	教員	食品・製造	医薬品・医療・化学工業	IT
総合教育科目	導入科目	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)	データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)				データサイエンス基礎 (一) データサイエンス基礎 (二)
	スポーツ関係科目					スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)			
	課題別科目				特別講義		特別講義		特別講義
外国語科目	就職準備科目						キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)
	実用英語科目	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)	実用英語 (一) 実用英語 (二) 実用英語 (三)
	人文科学分野科目	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション	サイエンスコミュニケーション	サイエンスコミュニケーション		科学と哲学	サイエンスコミュニケーション
専門教育科目	社会科学分野科目	国際関係と社会問題	国際関係と社会問題	国際関係と社会問題	日本国憲法	日本国憲法	マーケティング入門	マーケティング入門	マーケティング入門
	自然科学分野科目					地学 物理学			
	専門共通科目	植物分子遺伝学 ゲノム生物学 植物分子育種学 バイオインフォマティクス 植物病理学 アイソトープ利用論 農業化学・毒理学	植物分子遺伝学 動物分子遺伝学 バイオインフォマティクス バイオプロセス工学概論 精製化学	動物分子遺伝学 ゲノム生物学 植物分子育種学 バイオインフォマティクス ハイオプロセス工学概論 分子設計学 機器分析学 危険物取扱法	植物分子遺伝学 動物分子遺伝学 ゲノム生物学 植物分子育種学 農業化学・毒理学	植物分子遺伝学 動物分子遺伝学 ゲノム生物学 機器分析学	ゲノム生物学 植物分子育種学 バイオプロセス工学概論 農業化学・毒理学 知的財産概論	動物分子遺伝学 ゲノム生物学 バイオプロセス工学概論 分子設計学 農業化学・毒理学 危険物取扱法	植物分子遺伝学 動物分子遺伝学 植物分子育種学 バイオインフォマティクス 分子設計学 知的財産概論
特別プログラム	専門基礎科目	進化論	進化論	進化論	農学概論 数学 進化論	農学概論 進化論			数学
	専門応用科目	動物発生学 細胞工学概論	動物発生学 生物制御学 細胞工学概論 免疫学 実験動物学 ゲノム創薬概論	生物制御学 ゲノム創薬概論	動物発生学 細胞工学概論 実験動物学 ゲノム創薬概論	動物発生学 生物制御学 細胞工学概論 食品製造学 食品加工実習	動物発生学 生物制御学 細胞工学概論 食品製造学 食品加工実習	動物発生学 生物制御学 細胞工学概論 免疫学 実験動物学 ゲノム創薬概論	生物制御学
		Molecular Biology and Biotechnology	Molecular Biology and Biotechnology	Molecular Biology and Biotechnology					

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 分子生命化学科 履修モデル

コース		研究職・大学院（化学系）	研究職・大学院（生物系）	一般企業総合、技術職	農業従事、公務員、中高教員
開講区分	概要	研究職を志望し、大学院への進学を目指す学生のうち、化学工学系の分野を特に指向するもの	研究職を志望し、大学院への進学を目指す学生のうち、生物系・生物工学系の分野を特に指向するもの	一般企業の総合、技術職での就職を目指すもの	国および地方自治体への就職、中高教員または農業従事を目指すもの
	導入科目	データサイエンス基礎（一）	データサイエンス基礎（一）	データサイエンス基礎（一）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一）	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）
	外国語科目	実用英語科目		実用英語（三）	実用英語（三）
専門教育科目	学部共通科目	サイエンスコミュニケーション	サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション
	学科教養科目	社会科学分野科目 自然科学分野科目	日本国憲法	国際関係と社会問題	日本国憲法
学科専門科目	専門共通科目	危険物取扱法 分子設計学 糖質化学 農業化学・毒理学 危険物取扱法 アイソトープ利用論 ゲノム生物学	分子設計学 農業化学・毒理学 糖質化学 危険物取扱法 アイソトープ利用論 ゲノム生物学	危険物取扱法 分子設計学 糖質化学 アイソトープ利用論 ゲノム生物学	農業化学・毒理学 糖質化学 危険物取扱法 アイソトープ利用論 ゲノム生物学
	専門基礎科目	生物統計学	生物統計学	生物統計学	生物統計学
	専門応用科目	生物無機化学 有機化学（四） 天然生物活性物質学 天然物合成化学 化学工学	生物無機化学 生命高分子化学 天然生物活性物質学 微生物利用学 化学工学	生物無機化学 微生物利用学 天然生物活性物質学 生命高分子化学 化学工学	生物無機化学 化学工学 天然生物活性物質学

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

生命科学部 分子微生物学科 履修モデル

コース		食品・健康分野	農業・環境分野	生物情報分野	大学院
開講区分	概要	食品・健康・医薬品分野において、生産や流通への微生物の影響を理解し、商品開発、品質の向上・維持、安全・衛生管理能力をもつ人材の育成。	農業・環境分野において、微生物を中心とした生物の知識、並びにコミュニケーション能力をもち、ビジネスの創成や応用力の高い人材の育成。	発展著しい情報技術（IT分野）において、膨大なビッグデータから有用な知見を活用し、社会貢献できる人材の育成。	先端科学技術を利用した研究の理解および研究計画の立案、および将来リーダーシップを発揮できる総合力の高い人材の育成。
総合教育科目	全学共通科目	導入科目		データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）
		スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）
		課題別科目	特別講義（一）	特別講義（一）	特別講義（一）
		就職準備科目	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）
	学部共通科目	実用英語科目 実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三）	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三）	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三）	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三）
外国語科目					
専門教育科目	学科教養科目	人文科学分野科目 サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション	科学と哲学 サイエンスコミュニケーション
		社会科学分野科目 マーケティング入門 日本国憲法 国際関係と社会問題	マーケティング入門 日本国憲法 国際関係と社会問題	マーケティング入門 日本国憲法	マーケティング入門 日本国憲法
	自然科学分野科目	物理学	物理学	物理学	物理学
	専門共通科目	機器分析学 物質化学 バイオプロセス工学概論	機器分析学 危険物取扱法 農業化学・毒理学	機器分析学 ゲノム生物学 知的財産概論	機器分析学 ゲノム生物学 アイトートープ利用論 バイオプロセス工学概論 危険物取扱法 知的財産概論
	専門基礎科目	数学	数学	数学	数学
特別プログラム	専門応用科目	食品工学 極限環境生物学 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	土壌微生物学 ゲノム解析演習 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	ゲノム解析演習 合成生物学 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論	土壌微生物学 極限環境生物学 ゲノム解析演習 食品工学 合成生物学 先端分子微生物学概論 先端分子微生物学技術概論

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

地域環境科学部
森林総合科学科
履修モデル

コース			民間				公務員・団体等		大学院進学	教職		
開講区分		概要	環境保全関連業	森林資源生産関連業	木材・住宅関連業	情報・流通関連業	専門・技術職			農業（高校）	理科（中高）	技術（中学）
総合教育科目	全学共通科目	スポーツ関係科目		キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)				スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)	スポーツ・レクリエーション (一) スポーツ・レクリエーション (二)
		就職準備科目		キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)	キャリアデザイン (一) キャリアデザイン (二)						
外国語科目	学部共通科目	実用英語科目	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三） 実用英語（四）					
専門教育科目	学科教養科目	人文科学分野科目	文学	歴史学	哲学・倫理学							
		社会科学分野科目	社会学	社会学 経済学	社会学 経済学	社会学 経済学	社会学 日本国憲法 経済学	社会学 経済学			日本国憲法	日本国憲法
		自然科学分野科目	生物学 地学	生物学 地学	生物学 化学 物理学	生物学 地学	生物学 化学 地学 物理学	生物学 化学 地学 物理学			生物学 化学 地学 物理学	
	専門共通科目	技術者倫理 統計学 微生物環境学	技術者倫理 統計学 きのこ学	技術者倫理 統計学 きのこ学	技術者倫理 統計学 きのこ学 日本の森林文化	技術者倫理 統計学	技術者倫理 統計学			日本の森林文化 統計学	きのこ学 統計学	
	専門基礎科目	森林地形地質学 森林環境学 樹木生理学 森林土壌学 森林情報学演習 森林情報学 野生生物管理学	樹木生理学 森林土壌学 森林情報学 森林情報学演習 野生生物管理学 林木育種学 測樹学 樹病学 森林環境学	木材組織学 木材物理学 木材化学 樹病学	森林情報学 森林情報学演習 木材物理学 測樹学 森林社会科学概論	全般にわたる履修が望まれる	全般にわたる履修が望まれる			森林土壌学 森林情報学 測樹学 樹病学	森林地形地質学 樹木生理学 野生生物管理学 林木育種学 木材物理学 木材化学 森林環境学	木材組織学
	専門応用科目	補生物学 緑化学 外書講読 実録・調査計画法 森林水文学 治山工学 森林昆虫学 森林土木実習	実録・調査計画法 森林土木学 森林土木実習 森林機械学 造林木学 森林昆虫学 木質バイオマス利用学	実録・調査計画法 森林昆虫学 木材保存化学 木質構造学 木質材料学 建築設計製図法 木質バイオマス利用学	実録・調査計画法 森林水文学 治山工学 森林土木学 森林土木実習 森林計画学 森林機械学 農山村コミュニケーション論	実録・調査計画法 外書講読 (注)上記以外にも進学希望先に合わせて広く履修することが望まれる	実録・調査計画法 外書講読 (注)上記以外にも進学希望先に合わせて広く履修することが望まれる			治山工学 森林土木学 森林土木実習 森林機械学 森林計画学	補生物学 森林水文学 森林昆虫学 木質バイオマス利用学 建築設計製図法	緑化学 森林機械学 木材保存化学 木質構造学 木質材料学 建築設計製図法
	専門実用科目											木材加工（製図及び実習を含む。） 栽培（実習を含む。） 金属加工（製図及び実習を含む。） 電気（実習を含む。） 機械（実習を含む。）

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

地域環境科学部 生産環境工学科 履修モデル

コース		専門分野 (農業土木学)	専門分野 (環境資源学)	専門分野 (バイオロボティクス)	専門分野 (ジオータサイエンス)	公務員	進学	教員（農業）	教員（理科）	教員（技術）
開講区分	総合教育科目	概要	持続的な水田や畑を整備して、農業や生活に必要な水を獲得し、自然と調和した安全で安心な生活空間を形成するため技術を追究する。	地域を形成する水、大気、土壌、微生物、バイオマスを選挙資源ととらえ、農業農村工学的な視点から持続可能な資源循環社会を実現させるための教育・研究を行う	フードチェーンを対象としたスマート化したロボティクス、AI、IoT、ICT、DXなどを活用して設計・開発・評価・活用できる知識・技術を習得することを旨とする	地域環境や生産フィールドを対象としたスマート化について、AI、GPS、センシング、ビッグデータ、フィールドワークに活用できる知識・技術を習得することを旨とする	農業土木と農業機械専門領域の学問を基軸にして、現場での技術開発と学術的な研究を両立できる人材の育成を目指す	農業科の教員を目指す	理科の教員を目指す	技術科の教員を目指す
			データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）		スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）	スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）
外国語科目	学都共通科目	実用英語科目	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）
			実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）
専門教育科目	学科教養科目	人文科学分野科目	哲学・倫理学	歴史学			歴史学	歴史学	歴史学	歴史学
			社会学	社会学			社会学 経済学 日本国憲法	社会学 経済学 日本国憲法	社会学 経済学 日本国憲法	社会学 経済学 日本国憲法
学科専門科目	自然科学分野科目	物理学 地学 生物学	物理学 地学 生物学	化学 物理学 生物学	生物学 地学	化学 生物学 物理学 地学	化学 生物学 物理学 地学	化学 生物学 物理学 地学	化学 生物学 物理学 地学	化学 生物学 物理学 地学
			技術者倫理 海外農業農村開発学	技術者倫理 微生物環境学 海外農業農村開発学	技術者倫理 群衆生態学	技術者倫理 微生物環境学	技術者倫理 微生物環境学	技術者倫理 海外農業開発工学 微生物環境学	技術者倫理 微生物環境学	技術者倫理
専門基礎科目	専門基礎科目	環境科学基礎 力学演習（一） 力学演習（二）	環境科学基礎 力学演習（一） 力学演習（二）	環境科学基礎 地形地質学 電気化学	環境科学基礎 地形地質学 作物生態学	環境科学基礎 地形地質学 作物生態学	作物生態学	作物生態学 地域資源持続学 地域環境保全学	地形地質学 力学演習（一） 力学演習（二）	ものづくり設計製図 電気・電子工学
			農地工学 環境物理学 流域水文学 社会基礎工学 土木施工法 地水環境工学 河川工学 農村計画学 土地資源管理学 環境リモートセンシング工学 河川工学	流域水文学 環境資源学 環境情報学演習 環境情報学 地水環境工学 水利施設工学 農村計画学 土地資源管理学 環境リモートセンシング工学 河川工学	スマート農業（一） スマート農業（二） 食品工学	農村計画学 農地工学 環境資源学 土地資源管理学 環境物理学 流域水文学 環境リモートセンシング工学 地水環境工学 社会基礎工学 土木施工法 水利施設工学 スマート農業（一）	分野のコア科目	農村計画学 農地工学 土地資源管理学 地水環境工学 水利施設工学 河川工学 スマート農業（一）	環境情報学 流域水文学 環境リモートセンシング工学	環境情報学 社会基礎工学 スマート農業（一） スマート農業（二）
専門実用科目	専門実用科目	※教職課程履修者（技術）のみ履修可								木材加工（製図及び実習を含む。） 栽培（実習を含む。） 金属加工（製図及び実習を含む。） 電気（実習を含む。） 機械（実習を含む。）

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

地域環境科学部 造園科学科 履修モデル

コース		大学院進学・海外留学モデル	環境計画・設計系モデル	景観建設・技術系モデル (造園環境情報コース)	ランドスケープ資源・植物系モデル	公務員系モデル	教員系モデル
開講区分	総合教育科目	大学院進学・海外への留学を目指すためのモデル	建設・ランドスケープコンサルタン ト・設計系を目指すためのモデル	造園建設・施設材料の技術者・造 園施工系を目指すためのモデル	造園建設・緑化樹木生産の技術者・ 自然再生緑化コンサルタント系を 目指すためのモデル	公務員技術職（造園職・土木職等） を目指すためのモデル	教職（理科・農業）を目指すた めのモデル
	全学共通科目	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）		
外国語科目	スポーツ関係科目						スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）
	課題別科目	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）	特別講義（一）～（四）
	就職準備科目	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	
	学都共通科目	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三） 実用英語（四）					
専門教育科目	外国語科目	初修外国語科目 **中国語（一） **中国語（二） **ドイツ語（一） **ドイツ語（二）					
	学科学分野科目	哲学・倫理学 歴史学 文学	*哲学・倫理学 *歴史学 *文学	*哲学・倫理学 *歴史学 *文学		*哲学・倫理学 *歴史学 *文学	*哲学・倫理学 *歴史学 *文学
	社会科学分野科目	社会学 経済学	社会学 経済学	経済学	経済学	日本国憲法 社会学	日本国憲法
	自然科学分野科目	生物学 地学 *物理学 *化学	生物学 地学	物理学 地学	生物学 化学	生物学 物理学	生物学 化学 地学 物理学
学科専門科目	専門共通科目	景観論 統計学 日本の森林文化 芝生論 技術者倫理 海外農村開発学	景観論 統計学 芝生論 技術者倫理 源流文化学	景観論 統計学 芝生論 技術者倫理 海外農業農村開発学	微生物環境学 景観論 統計学 技術者倫理 芝生論 群集生態学 技術者倫理	景観論 芝生論 技術者倫理 日本の森林文化 源流文化学 海外農業農村開発学	微生物環境学 景観論 芝生論 群集生態学 技術者倫理 きのこ学
	専門基礎科目	CAD・GIS基礎演習	CAD・GIS基礎演習	CAD・GIS基礎演習	CAD・GIS基礎演習	CAD・GIS基礎演習	CAD・GIS基礎演習
	専門応用科目	ランドスケープ作品論 ランドスケープデザイン論 ランドスケープ政策論 庭園技法論 ランドスケープマネージメント論 観光計画論 都市・農村計画学 緑地の生き物	ランドスケープ作品論 ランドスケープデザイン論 ランドスケープ政策論 空間情報学 ランドスケープマネージメント論 観光計画論 都市・農村計画学	空間情報学 庭園技法論 ランドスケープ政策論 ランドスケープマネージメント論 樹木の保護と管理 自然保護論 都市・農村計画	樹木の保護と管理 自然保護論 ランドスケープマネージメント論 ランドスケープマネージメント論 緑地の生きもの	ランドスケープ政策論 樹木の保護と管理 空間情報学 自然保護論 庭園技法論 ランドスケープマネージメント論 都市・農村計画学	自然保護論 緑地の生きもの ガーデンプランツ 庭園技法論
	総合化科目	造園計画設計演習 造園施工材料演習 造園植物・植栽演習 *専門特化演習（一）地域再生 *専門特化演習（二）伝統技法 専門特化演習（二）環境デザイン	造園計画設計演習 *造園施工材料演習 *造園植物・植栽演習 *専門特化演習（一）地域再生 *専門特化演習（二）環境デザイン	造園施工材料演習 *造園計画設計演習 *造園植物・植栽演習 *専門特化演習（一）伝統技法 専門特化演習（二）（エンジニア）	造園植物・植栽演習 造園施工材料演習 専門特化演習（一）（植物学） 専門特化演習（二）（エンジニア） *専門特化演習（二）植栽基礎	造園植物・植栽演習 造園施工材料演習 専門特化演習（一）（地域再生） 専門特化演習（二）（エンジニア）	造園植物・植栽演習 造園施工材料演習 専門特化演習（一）植物学 *専門特化演習（二）植栽基礎 *専門特化演習（二）（エンジニア）
特別プログラム		インターナショナルスタディーズ（一）～（三）					

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

* 1科目選択

地域環境科学部 地域創成科学科 履修モデル

コース		大学院進学	公務員（一般）	公務員（技術系）	建設業	環境コンサル	農林・緑化	観光・レク	環境関連 NGO・NPO
開講区分	概要	本コースは大学院進学を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは非技術系（行政職等）の公務員を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは技術系（土木職等）の公務員を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは建設系企業（建設会社、建設コンサルタント等）への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは、環境保全に関するコンサルティングを行う団体・企業への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは農林・緑化事業に係わる団体・企業への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは観光・レクリエーション業への就職を目指す学生に勧めるコースである。	本コースは環境関連 NGO や NPO への就職を目指す学生に勧めるコースである。
	導入科目	スポーツ・レクリエーション（一）							
総合教育科目	全学共通科目								
	学部共通科目	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（三）	実用英語（四）	実用英語（四）	実用英語（三）	実用英語（三） 実用英語（四）
外国語科目									
専門教育科目	学科学分野科目	歴史学 社会学 経済学	文学 日本国憲法 社会学 経済学	歴史学 日本国憲法 社会学	歴史学 社会学 経済学	歴史学 社会学	歴史学 社会学	文学 日本国憲法 社会学 経済学	文学 社会学 経済学
	自然科学分野科目	地学	化学 地学	地学 物理学	地学 物理学	生物学 化学	生物学 化学	地学	地学
専門専門科目	専門共通科目	統計学 技術者倫理 群衆生態学	統計学 技術者倫理	統計学 技術者倫理	統計学 技術者倫理	統計学 技術者倫理 群衆生態学	統計学 技術者倫理 群衆生態学	統計学 技術者倫理 源流文化学	統計学 技術者倫理 源流文化学 群衆生態学
	専門基礎科目	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理	野生動物資源の管理		
専門応用科目		補裁技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥科学 環境修復論 農地保全学 河川水文学 文化産業・観光計画学 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 環境修復論 文化産業・観光計画学 農と健康 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理学 環境修復論 河川水文学 文化産業・観光計画学 農と健康 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 農業基盤工学 地域環境政策学 作物栽培管理学 環境修復論 河川水文学 文化産業・観光計画学 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥科学 環境修復論 河川水文学 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥科学 環境修復論 河川水文学 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥科学 環境修復論 河川水文学 地域創成関連法規	補裁技術論 農域植生学 農域植生学 地域環境政策学 作物栽培管理学 土壌肥科学 環境修復論 河川水文学 地域創成関連法規
	総合化科目		地域創成インターンシップ			地域創成インターンシップ	地域創成インターンシップ	地域創成インターンシップ	地域創成インターンシップ

国際食料情報学部 国際農業開発学科 履修モデル

コース		ODA、NGO など 国際協力機関	民間農業関連産業	農業経営者	公務員	教員		進学
開講区分	概要	国際協力に携わる人材の育成 (ODA、NGO、国際機関など)	食品・農業・環境関連産業に 携わる人材の育成（食品系、 農業系、環境系の民間会社）	農業従事者の育成（国内外新 規就農者、農業後継者）	国家公務員、地方公務員	中学・高校教員（理科・農業）の育成		大学院への進学
						農業	理科	
総合教育科目	導入科目	データサイエンス基礎(一)(二)	データサイエンス基礎(一)(二)					データサイエンス基礎(一)(二)
	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)(二)	スポーツ・レクリエーション(一)(二)	スポーツ・レクリエーション(一)(二)	スポーツ・レクリエーション(一)(二)			スポーツ・レクリエーション(一)(二)
	課題別科目	特別講義	特別講義	特別講義	特別講義			特別講義
	就職準備科目	キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン	キャリアデザイン		キャリアデザイン
外国語科目	実用英語科目	全科目	全科目	実用英語(一)(二)	全科目	実用英語(一)(二)		全科目
	初修外国語科目	中国語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、韓国朝鮮語 以上から3言語	中国語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、韓国朝鮮語 以上から2言語	中国語、フランス語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、韓国朝鮮語 以上から1言語				
	人文科学分野科目	環境倫理 文化人類学 外国史	日本史 文化人類学	環境倫理 日本史	環境倫理 文化人類学			環境倫理 日本史 外国史
	社会科学分野科目	地理学 グローバリ化時代の地誌	法学入門 グローバリ化時代の地誌	法学入門 地理学	日本国憲法 法学入門	日本国憲法 地理学		地理学 グローバリ化時代の地誌
学科専門科目	自然科学分野科目	生物学 化学	生物学 化学	生物学 化学	生物学、物理学 化学、地学	生物学、物理学 化学、地学		生物学 化学
	専門共通科目	AI とスマート農業 国際比較農業論 食料地理学	持続可能社会論 食料生産環境学	AI とスマート農業 国際比較農業論 経営情報論	食料生産環境学 国際比較農業論 統計基礎	国際比較農業論 AI とスマート農業 食品学		食料生産環境学 国際比較農業論
	専門基礎科目	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物病理学 農業昆虫学 国際農業協力論	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 作物病理学 農業昆虫学	熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物病理学 農業昆虫学	作物病理学 農業昆虫学	作物病理学 農業昆虫学 国際農業協力論		熱帯食用作物学 熱帯野菜学 熱帯果樹学 作物病理学 農業昆虫学 国際農業協力論
	専門応用科目	作物育種学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯動物生態学 熱帯植物生態学 国際農業経済論	作物育種学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯動物生態学 熱帯植物生態学 国際農業経済論	作物育種学 野生動物管理学 熱帯植物生態学	作物育種学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯動物生態学 熱帯植物生態学 国際農業経済論	作物育種学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯動物生態学 熱帯植物生態学 国際農業経済論		作物育種学 野生動物管理学 熱帯農業微生物学 熱帯動物生態学 熱帯植物生態学 国際農業経済論
特別プログラム	総合化科目	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習(一)(二)(三)	フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習(一)(二)(三)	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習(一)(二)(三)	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習(一)(二)(三)	ファームステイ フィールド調査 農村開発協力論セミナー 海外農業実習(一)(二)(三)		農業専門実験 農村開発協力論セミナー フィールド調査
		インターナショナルスタディーズ(一)(二)		インターナショナルスタディーズ(一)(二)	基礎数学	基礎数学		基礎数学

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 食料環境経済学科 履修モデル

コース		民間企業等	公務員・団体等	教員	進学
開講区分	概要	農業法人、食品加工業、小売業、流通業、外食などの分野に従事することを希望する学生、または、企業の環境対応に関わること希望する学生を対象。	国家公務員および地方公務員、JA、NPOにおいて農業振興、地域活性化、環境保全、食育に関わることを希望する学生を対象。	農業・公民・地歴教員となり農業教育および地域の人材の育成を職業として希望する学生を対象。	大学院進学を希望する学生を対象。
	全学共通科目	スポーツ関係科目		スポレク（一） スポレク（二） など	
外国語科目	学部共通科目	就職準備科目	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二） など	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二） など	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二） など
		実用英語科目 初修外国語科目	実用英語（一）～（四） など 中国語（一） 中国語（二） など	実用英語（一）～（四） など	実用英語（一）～（四） など
専門教育科目	学科教養科目	人文科学分野科目	環境倫理 日本史 など	日本国憲法 環境倫理 日本史 など	環境倫理 日本史 文化人類学 など
		社会科学分野科目	法学入門 グローバリズム時代の地誌 など	地理学 社会学 グローバリズム時代の地誌 など	地理学 社会学 グローバリズム時代の地誌 など
	学科専門科目	専門共通科目	統計基礎 持続可能社会論 経営情報論 など	統計基礎 持続可能社会論 食料地理学 など	統計基礎 持続可能社会論 食料地理学 など
		専門基礎科目	ミクロ経済学（二） 商品開発実習論 社会調査とデータ解析 国際農業論 経済地理学 企業経営論 農業貿易論 環境経済評価 食品関係法 など	農業史 食と農の社会学 経済地理学 地域づくり論 農業思想論 国際農業論 環境政策論 農業政策論 など	ミクロ経済学（二） マクロ経済学 社会調査とデータ解析 地域づくり論 食と農の社会学 農業思想論 国際農業論 環境政策論 農業政策論 など

※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 アグリビジネス学科 履修モデル

コース		ファームマネジメント	フードビジネス	情報ビジネス	国際アグリビジネス	公務員・公共サービス	教員（農業）	大学院進学
総合教育科目	開講区分	概要	農家、農業法人、企業などにおいて、農業経営に携わる人材の育成	アグリビジネスにおける経営情報システム構築・管理あるいは情報関連ビジネスに携わる人材の育成	国際的な農業・食料関連ビジネスに携わる人材の育成	公務員や農協など、地域づくりに携わる人材の育成	高等学校（農業）の教員を目指す人材の育成	大学院への進学を目指す人材の育成
		導入科目		デーサイエンス基礎(一)(二)				デーサイエンス基礎(一)(二)
外国語科目	学都共通科目	スポーツ関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)(二)				スポーツ・レクリエーション(一)(二)	
		就職準備科目	キャリアデザイン(一)(二)	キャリアデザイン(一)(二)	キャリアデザイン(一)(二)	キャリアデザイン(一)(二)	キャリアデザイン(一)(二)	キャリアデザイン(一)(二)
		実用英語科目	実用英語(一)(三)(四)から2科目を履修すること	実用英語(一)(三)(四)から2科目を履修すること	実用英語(一)(二)(三)(四)から2科目を履修すること	実用英語(一)(三)	実用英語(一)(二)(三)	実用英語(一)(二)(三)(四)から2科目を履修すること
		人文科学分野科目	環境倫理 など	環境倫理 など	環境倫理 など	環境倫理 など	環境倫理 など	環境倫理 など
専門教育科目	学科教養科目	社会科学分野科目	法学入門 など	法学入門 など	法学入門 など	法学入門 など	法学入門 など	法学入門 など
		自然科学分野科目	生物学 など	生物学 など	生物学 など	生物学 など	生物学 など	生物学 など
		専門共通科目	食品学 食農とメディア	統計基礎 経営情報論	持続可能社会論 国際比較農業論	持続可能社会論 食料生産環境学	AIとスマート農業 国際比較農業論	統計基礎
		専門基礎科目	基礎農場研修 アグリビジネス実地研修(一)(二)	基礎農場研修 統計学(一)	基礎農場研修 アグリビジネス実地研修(一)(二)	基礎農場研修 アグリビジネス実地研修(一)(二)	基礎農場研修 アグリビジネス実地研修(一)(二)	基礎農場研修 統計学(一) アグリビジネス実地研修(一)(二)
総合化科目	専門応用科目	専門応用科目	農業経営学演習 商品企画演習 マーケティング・リサーチ 経営分析論 農企業論	統計学演習 統計学(二) 農業経営学演習 オペレーションズ・リサーチ 演習 オペレーションズ・リサーチ	会計学演習 地域農業活性化論 農業経営学演習 マーケティング・リサーチ 経営分析論	地域農業活性化論 農業経営学演習 農業構造論 商品企画演習 会計学演習 経営分析論	アグリマーケティング論(二) 地域農業活性化論 マーケティング・リサーチ 農業構造論 経営分析論	会計学演習 統計学演習 農業経営学演習 商品企画演習
		総合化科目	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)
		総合化科目	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)	総合研究(一)(二)(三)(四) 応用フィールドワーク(一)(二)

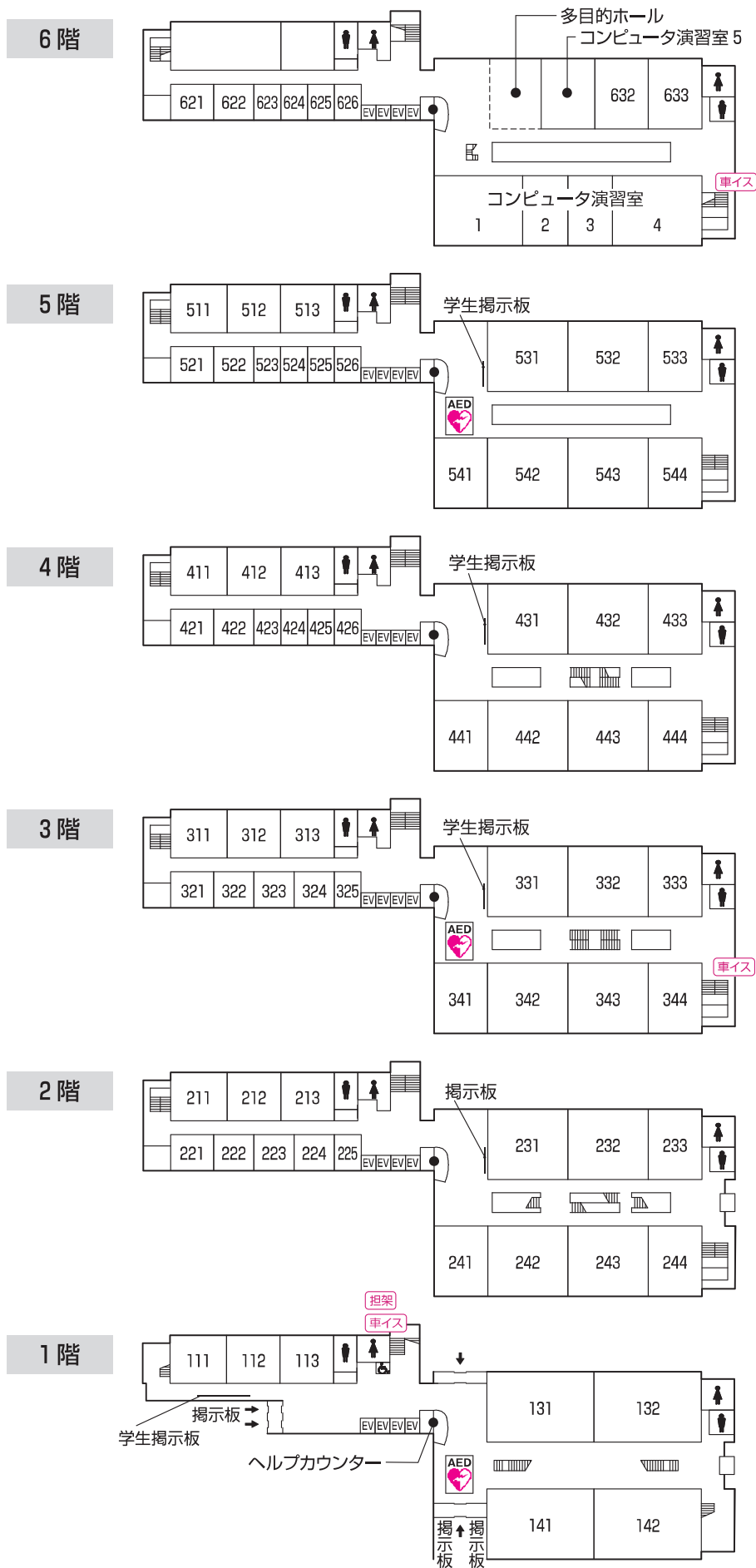
※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

国際食料情報学部 国際食農科学科 履修モデル

コース		食農振興支援者	食農教育・文化発信者	食農事業実践者
開講区分	概要	行政、JA、NP0、6次産業化プロデューサーなどに携わることが希望する学生	教員（農業）、学芸員、NGO、マスメディア、出版などに携わることが希望する学生	農業経営、食農起業、フードスベンチャリスト、食品産業などに携わることが希望する学生
	導入科目	データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）		データサイエンス基礎（一） データサイエンス基礎（二）
総合教育科目	スポーツ関係科目		スポーツ・レクリエーション（一） スポーツ・レクリエーション（二）	
	課題別科目	特別講義（一） 特別講義（二）	特別講義（一） 特別講義（二）	
	就職準備科目	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）	キャリアデザイン（一） キャリアデザイン（二）
	実用英語科目	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（一） 実用英語（二） 実用英語（三） 実用英語（四）	実用英語（一） 実用英語（二）
外国語科目	学部共通科目			
専門教育科目	人文科学分野科目	日本史 環境倫理	外国史 環境倫理	日本史 文化人類学
	社会科学分野科目	法学入門 日本国憲法 地理学	法学入門 日本国憲法 グローバル時代の地誌	法学入門 日本国憲法 社会学
	自然科学分野科目	生物学 地学	生物学 化学	生物学 化学
	専門共通科目	国際比較農業論 統計基礎	持続可能社会論 食農とメディア	AIとスマート農業 経営情報論
学科専門科目	専門基礎科目	農学概論	農学概論	農学概論
	専門応用科目	食と農の社会論 国際フードシステム論 食品衛生学 食品機能学 フードコーディネイト論 調理学 食農と協同組合	食と農の社会論 食品機能学 食農シエンダー論 調理学 食農科学演習（一） 食農科学演習（二）	国際フードシステム論 食品衛生学 食品機能学 調理学 フードスベンチャリスト論 フードコーディネイト論
	総合化科目	食品安全評価実験および加工学実習 調理学実習 食農フィールドスタディ	食農フィールドスタディ	食品安全評価実験および加工学実習 調理学実習 食農フィールドスタディ

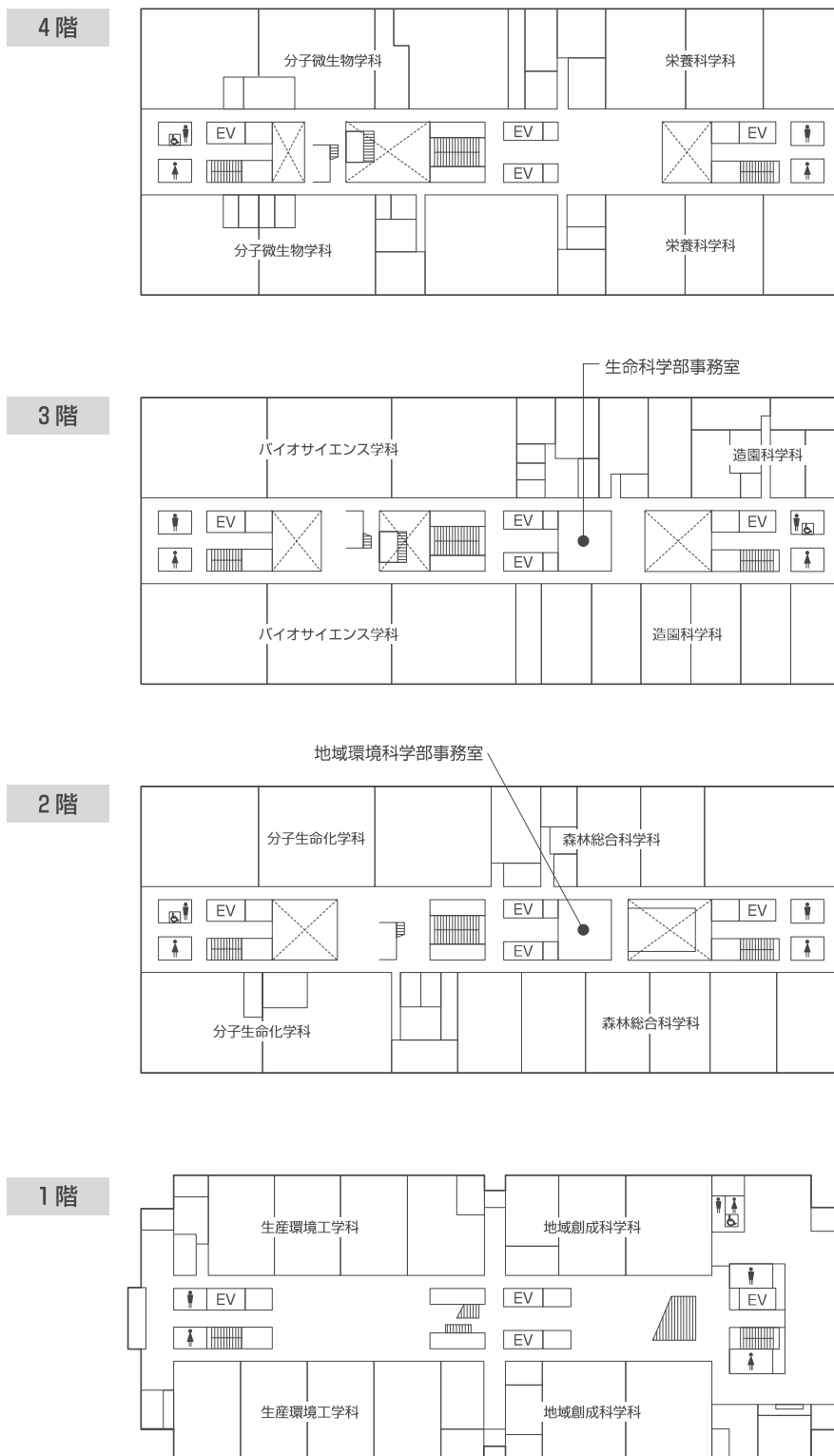
※必修科目は含んでいない。ただし、選択必修科目は含まれている。

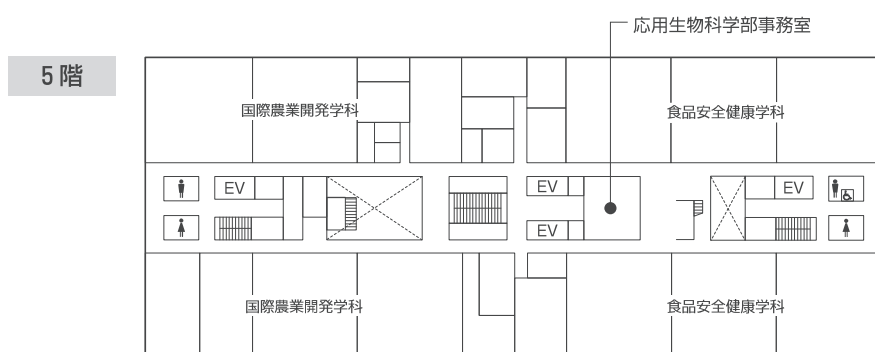
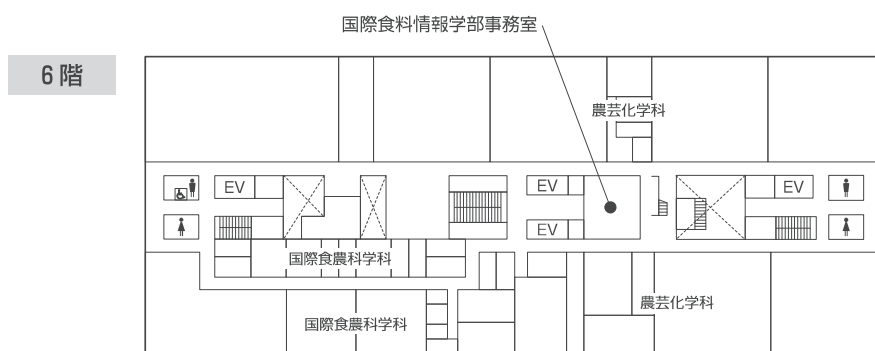
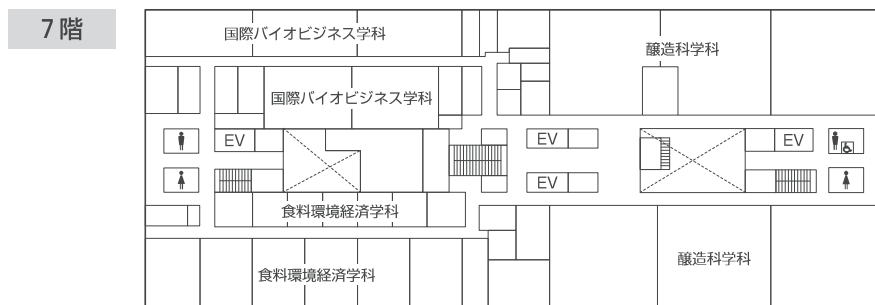
17 世田谷キャンパス 1号館 教室配置図



18 世田谷キャンパスサイエンスポート 教室配置図

※入退館には、学生証が必要です。必ず学生証を携帯ください。





学部事務室連絡先

階	学部事務室	電話番号	メールアドレス
2階	地域環境科学部	03-5477-2911	chiiki@nodai.ac.jp
3階	生命科学部	03-5477-2912	seimei@nodai.ac.jp
5階	応用生物科学部	03-5477-2917	ousei@nodai.ac.jp
6階	国際食料情報学部	03-5477-2918	kokusai@nodai.ac.jp

19 キャンパスマップ（世田谷）

校舎等配置図



20 実験・実習・演習室短縮名称

建屋	名称	短縮名	建屋	名称	短縮名
1号館	6F コンピュータ演習室 1	コンピ 1	17号館	百周年記念講堂	百周年
	6F コンピュータ演習室 2	コンピ 2	18号館	1F 製図・演習室	1811
	6F コンピュータ演習室 3	コンピ 3		3F 生物系実験室	1831
	6F コンピュータ演習室 4	コンピ 4		4F 化学系実験室	1841
	6F コンピュータ演習室 5	コンピ 5		化学系実験室	1842
7号館	工作室	7 工作室		5F 化学系実験室	1851
	共通実験室	7 共通 E		化学系実験室	1852
	化学第四製図室	7 共通 D		6F 調理第一実習室	1861
	森林総合科学科実験実習室	7 森林 EP		調理第二実習室	1862
	地域創成科学科実験実習室	7 創成 E		理化学第一実験室	1871
11号館	第一製図室	11 第一 D		理化学第二実験室	1872
	第二製図室	11 第二 D		給食経営管理実習	1863・1864
	景観建設・技術分野演習室	11 造園工 P		8F 生物系実験室	1881
	植物系実験室	11 植物系 E		生物系実験	1882
	教職模擬教室	11 教職模擬		学生実験室	1883
	栄養教育実習室	11 栄養 P		学生実験室	1884
	臨床栄養学実習室	11 臨床 P	その他	桜丘アリーナ	アリーナ
12号館	食品加工技術センター	11 食品加工		ロボット農業リサーチセンター	RARC
15号館	物理学・生物学実験室	15 物理学 E		森林総合科学科演習室	森林演習室
	地学・化学実験室	15 地学 E			

農

東京農業大学

世田谷キャンパス / 大学院・応用生物科学部
生命科学部・地域環境科学部
国際食料情報学部

厚木キャンパス / 大学院・農学部
北海道オホーツクキャンパス / 大学院・生物産業学部